

# 資料

## 1. 平成 28 年度予備的研究

- ・ 調査時における学校訪問調査について(説明用)
- ・ 研究で使用した、精神疾患及び心身症の児童生徒の教育的ニーズに関する調査用紙(個人)
- ・ 調査後に行ったグループ討議用紙
- ・ 調査結果の単純集計による図

## 2. 平成 29 年度基幹研究

- ・ 調査時における学校訪問調査について(説明用)
- ・ 研究で使用した、精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する調査用紙(個人)

## 3. 平成 30 年度基幹研究

- ・ 調査結果について質的分析を行った教育支援・配慮例  
「連続性のある多相的多階層支援 : Continuous Multiphase and Multistage educational support [Co-MaMe]」による【支援・配慮のイメージ図】



# 学校訪問調査について

平成28年6月21日

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
病弱班

## 1. 調査の目的

特別支援学校(病弱)の先生方から、精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズに関する情報をいただくことを目的としています。

## 2. 調査の対象

特別支援学校(病弱)の先生方で、精神疾患及び心身症のある児童生徒への指導経験がある方を対象としています。

## 3. 調査の方法

病弱教育班所属の研究員1～2名が学校に訪問して、司会進行をしながらワークシートを使った作業と協議を行います。事前に当日参加可能な先生方を4、5名程度のグループ(できるだけ所属学部ごと)に分けておいていただければ、スムーズに始められると思いますので、可能な範囲でよろしくお願ひいたします。それでは、以下に、当日の大まかな流れを示します。

(1) 本調査の説明(研究の概要、調査の進め方等)を行う【5分】

(2) ワークシートを使った作業を行う【20分】

※これまでの指導経験を想起していただきながら、精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズについて書いていただく作業です。

※事前に答えを準備しておいていただけますよう内容ではありませんのでご安心ください。

(3) 教育的ニーズや指導上の課題についてグループ協議を行う【30分】

(4) グループ協議の結果を全体で共有する【10分】

## 4. 準備物

お手数をおかけいたしますが、本調査の実施に当たり、以下の物品のご準備をよろしくお願ひいたします。また、会場はグループ毎に作業や話し合いがしやすいような形でご準備いただければと思います。

(1) 全体：(可能であれば)プロジェクター、スクリーン

(2) 先生方個人：筆記用具、飲み物、その他熱中症対策グッズ



## 5. その他

調査終了後は、病弱教育に関する研究成果やトピックスについて紹介させていただく時間をいただければ幸いです。その内容や時間については、後日、担当の先生とご相談させていただきたく思います。



先生方のご協力に感謝申し上げます。  
なお、ご不明な点等がありましたら、下記のアドレスにご連絡ください。

予備的研究「精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育の実態とニーズに関する基礎調査—関連領域の  
情報収集を含めた調査—」

## **精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズに関する調査**

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所病弱班

### **I. 調査の目的**

本調査は、精神疾患及び心身症(以下、「精神疾患等」という)のある児童生徒の教育的ニーズ(※)を明らかにすることを目的としています。

### **II. 調査対象**

精神疾患及び心身症のある児童生徒への指導経験がある特別支援学校(病弱)の教員

### **III. 調査方法**

精神疾患等のある児童生徒の教育的ニーズについて、以下の方法で調査します(約 65 分)。

(1)本調査の説明を行う。【5分】

(2)ワークシートを使った作業を行う。【20分】

※これまでの指導経験を想起していただきながら、精神疾患等のある児童生徒の教育的ニーズについてワークシートに記入する。

(3)ワークシートを基に、教育的ニーズや指導上の課題についてグループ協議を行う。【30分】

(4)グループ協議の結果を全体で共有する。【10分】

### **IV. 調査結果の公表について**

本調査の結果を資料として用いる研究の成果は、学会や報告書、Web サイト等で公表する予定です。その際、回答者個人が特定される形での公表は一切行いません。また、回収した調査結果は厳重に保管し、研究目的以外で使用することは一切ありません。

### **V. 同意の有無について**

本調査の趣旨をご理解いただき、同意の有無について回答いただきますようお願い申し上げます。

同意する

同意しない

回答者氏名 \_\_\_\_\_

#### **※本調査における「教育的ニーズ」の定義**

子どもの学習上または生活上何らかの教育的な配慮が必要であると考えられることの総称

**1. あなたがこれまで指導してきた精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズについて伺います。【20分】**

(1)どの学部の児童生徒を想定するかについて、該当するもの一つにチェック(✓)を記入してください。

小学部児童

中学部生徒

高等部生徒

(2)下表の各項目について、(1)の学部児童生徒の教育的ニーズに当てはまるかどうかをお答えください。「当てはまる」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」のいずれかにチェック(✓)を記入してください。

項目(具体例)	記入欄			
	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1.不安・悩み (不安が強い、悩みが頭から離れない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.感情のコントロール (気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.こだわり (一つのことにこだわると他のことが考えられない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4.意欲・気力 (目標がもてない、やる気が起きない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5.自己理解 (何が辛いのか自分でも分からない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6.気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に表せない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7.情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまう、イライラする)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8.気分の変動 (気分の浮き沈みがある)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9.自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10.同年代との関係 (相手のことを考えた言動ができずトラブルになる)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11.集団活動 (集団の中にいると疲れる、ルールに従えない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12.コミュニケーションスキル (あいづちがうてない、人の話が聞けない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13.家族との関係 (家族との関係がうまくいかない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14.他者理解 (表情や態度から気持ちが読み取れない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15.他者への信頼 (人が信用できない、人とかかわりたくない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16.他者への相談 (困った時に相談できない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

17.教師との関係 (教師を信用しない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18.学習状況 (勉強の仕方が分からない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19.処理能力 (書きながら聞く等、2つの作業を同時にこなす) (書きながら聞く等、2つの作業を同時にこなす)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20.聞き取り・理解力 (話を聞いても理解できない、指示内容が分からず)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21.読み・書き (文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22.記憶力 (すぐに忘れてしまう)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23.注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24.学習への意識 (嫌いな教科に出たくない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25.経験 (生活経験が低い)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26.身体症状・体調 (お腹や頭が痛い、過呼吸や喘息がおこる)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27.巧緻性 (手先を使って操作することが指示通りできない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28.動作・体力 (体力がない、動きがはやくできない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29.多動性 (じっとしていられない、待てない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30.感覚過敏 (においに敏感、大きな声が嫌)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
31.見通し (予定の変更が受け入れられない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
32.物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33.登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れないと)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34.睡眠・生活リズム (朝起きられず遅刻してしまうことが多い)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35.食事 (給食が食べられない、外食ができない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36.服薬 (薬が手離せない、薬の管理が面倒)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37.病気の理解 (自分自身の病状を理解していない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38.ストレスへの対処 (ストレスへの対処、苦手なことから逃れたい)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3)(2)で「当てはまる」または「やや当てはまる」にチェック(✓)を記入した項目について、(1)の学部児童生徒における教育的ニーズの具体例を記入してください。どこから書き始めても構いません。作業終了の指示があるまで、できるだけたくさんお書きください。

(自由記述、実際に使用した版は、十分な記述スペースがある)

項目	具体例 記入欄
1.不安・悩み	
2.感情のコントロール	
3.こだわり	
4.意欲・気力	
5.自己理解	
6.気持ちの表現	
7.情緒の安定	
8.気分の変動	
9.自信	
10.同年代との関係	
11.集団活動	
12.コミュニケーションスキル	
13.家族との関係	
14.他者理解	
15.他者への信頼	
16.他者への相談	
17.教師との関係	
18.学習状況	
19.処理能力	
20.聞き取り・理解力	
21.読み・書き	
22.記憶力	
23.注意・集中	
24.学習への意識	
25.経験	
26.身体症状・体調	
27.巧緻性	
28.動作・体力	
29.多動性	
30.感覚過敏	
31.見通し	
32.物の管理	
33.登校・入室への抵抗感	
34.睡眠・生活リズム	
35.食事	
36.服薬	
37.病気の理解	
38.ストレスへの対処	

## **2. 精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズや指導上の課題についてグループ協議を行います。【30分】**

(1) 質問1の表で示した教育的ニーズの項目以外に、精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズとして把握しておく必要があることについて協議し、別紙にまとめてください。特にない場合は、次の(2)にお進みください。

----- 時間に余裕がある場合、次の(2)についても協議 -----

(2) 質問1の表に記入した教育的ニーズや質問2(1)で協議してまとめた教育的ニーズを踏まえ、指導上の課題になっていることについて協議し、特に解決に向けた取組の必要性が高い3点を別紙に記入してください。

### **※最後に、以下の2点についてお答えください。**

●教職経験( 年)

特別支援学校(病弱)及び病弱・身体虚弱特別支援学級経験( 年)

●実際に指導した精神疾患及び心身症のある児童生徒の人数(約 人)

※そのうち、学級担任として指導した児童生徒の人数(約 人)

ご協力ありがとうございました。

校

グループ： 小学部 • 中学部 • 高等部 \_\_\_\_\_

**グループ協議(1)その他の教育的ニーズ**

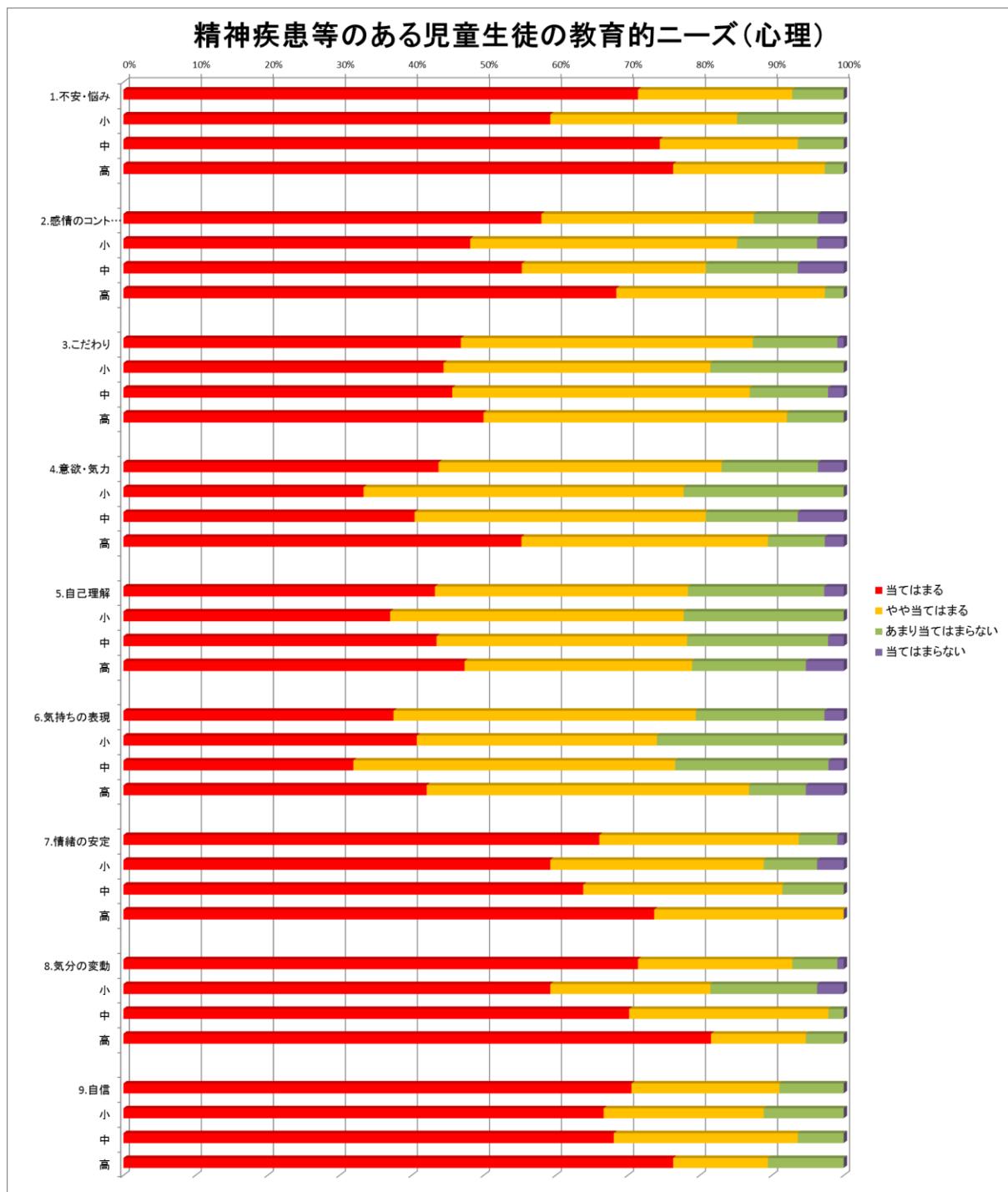
項目	具体例

※裏面もあります。

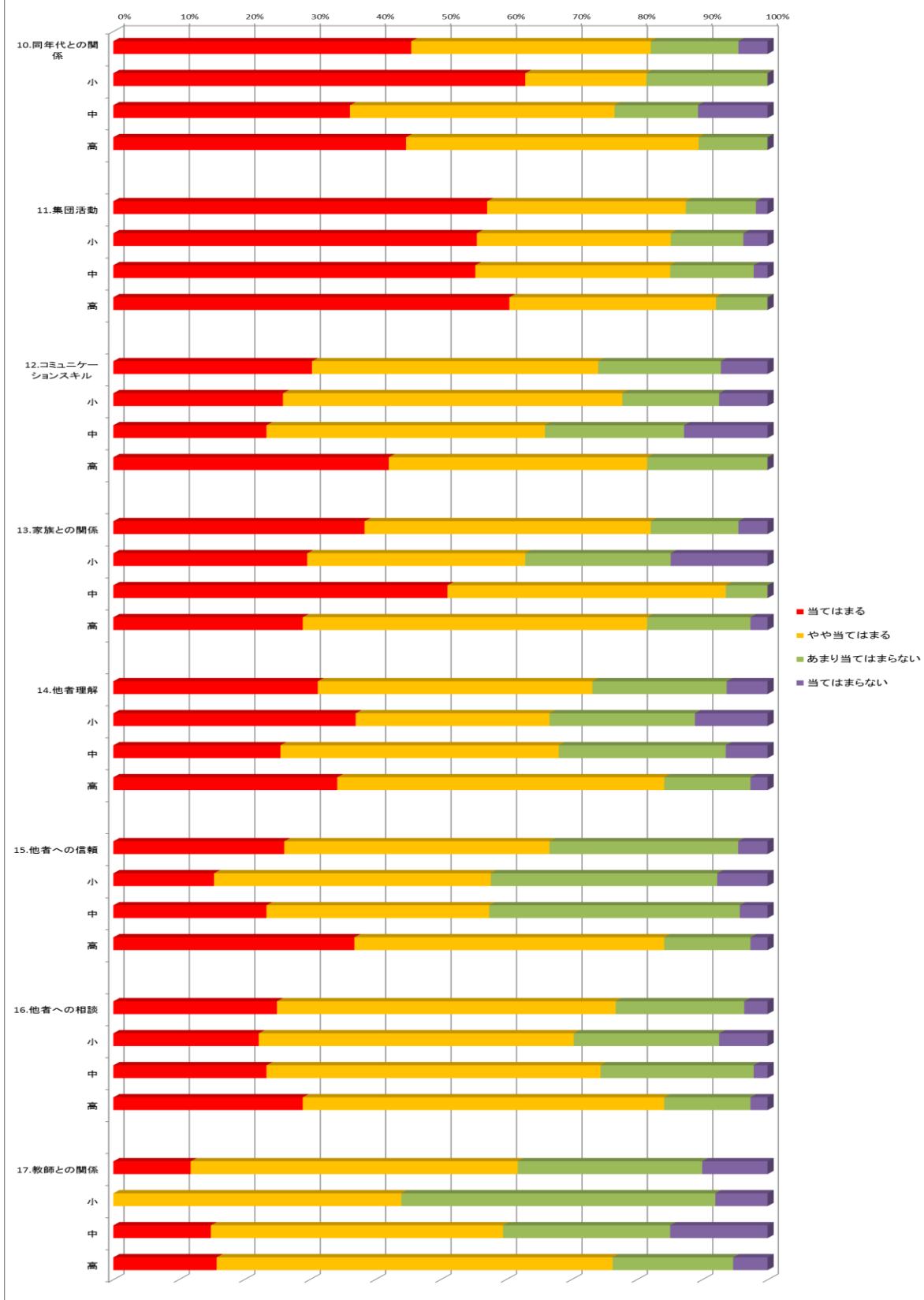
**グループ協議(2)指導上の課題**

【優先順位：1】
・指導上の課題：_____
・具体的な内容や背景等 〔 〕
【優先順位：2】
・指導上の課題：_____
・具体的な内容や背景等 〔 〕
【優先順位：3】
・指導上の課題：_____
・具体的な内容や背景等 〔 〕

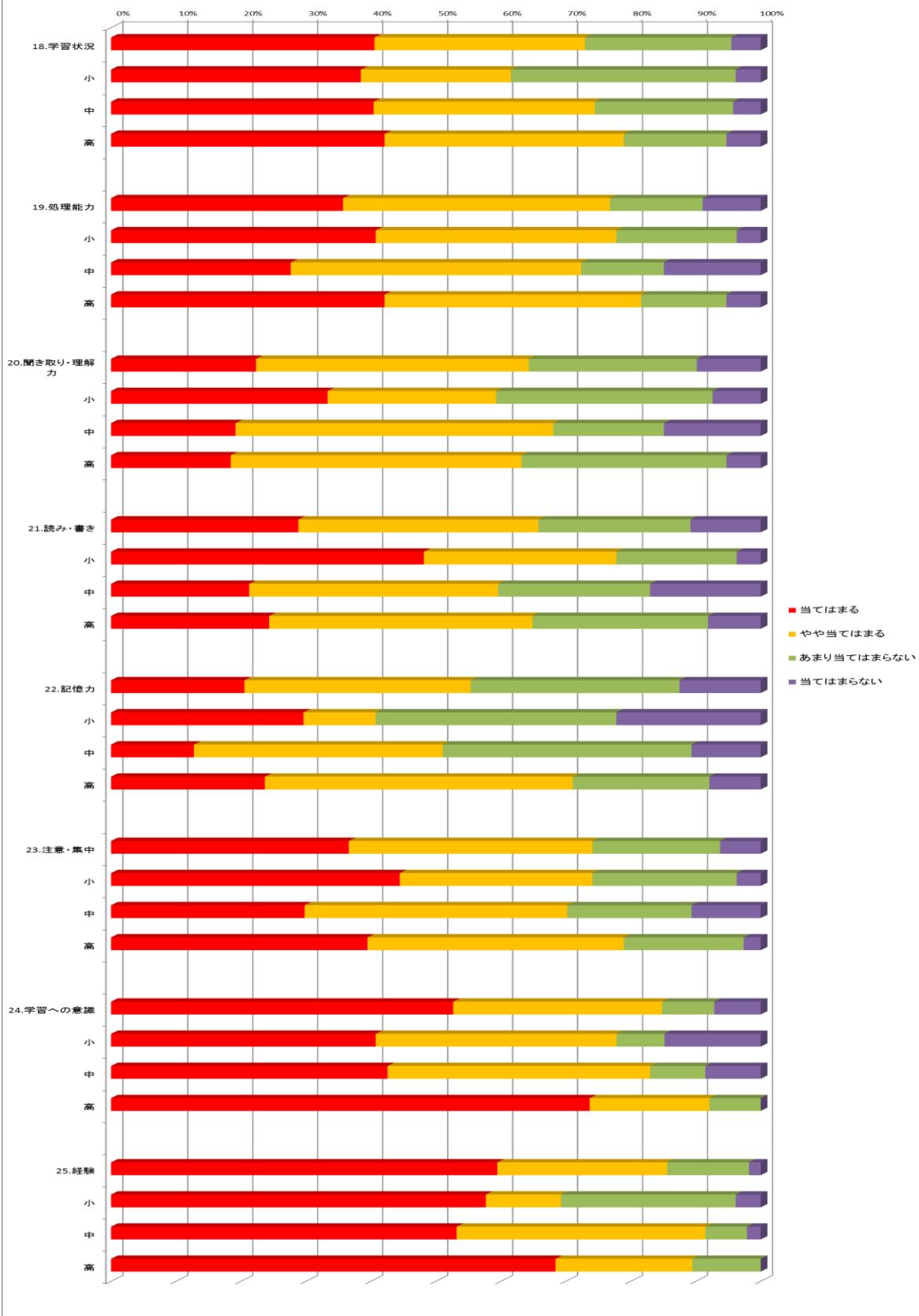
【結果の単純集計による図(予備的研究,本報告書の第Ⅲ章】



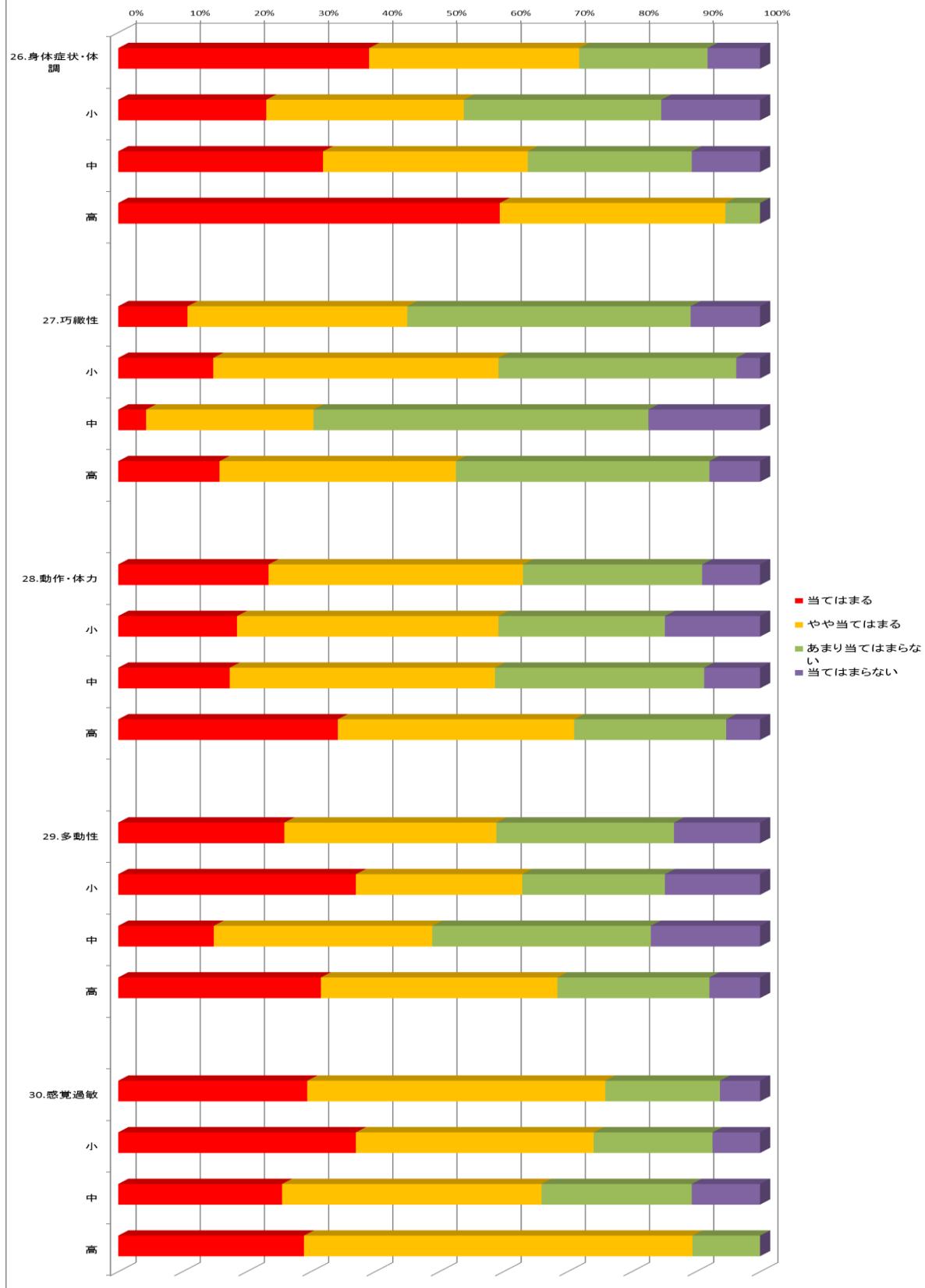
## 精神疾患等のある児童生徒の教育的ニーズ(社会性)



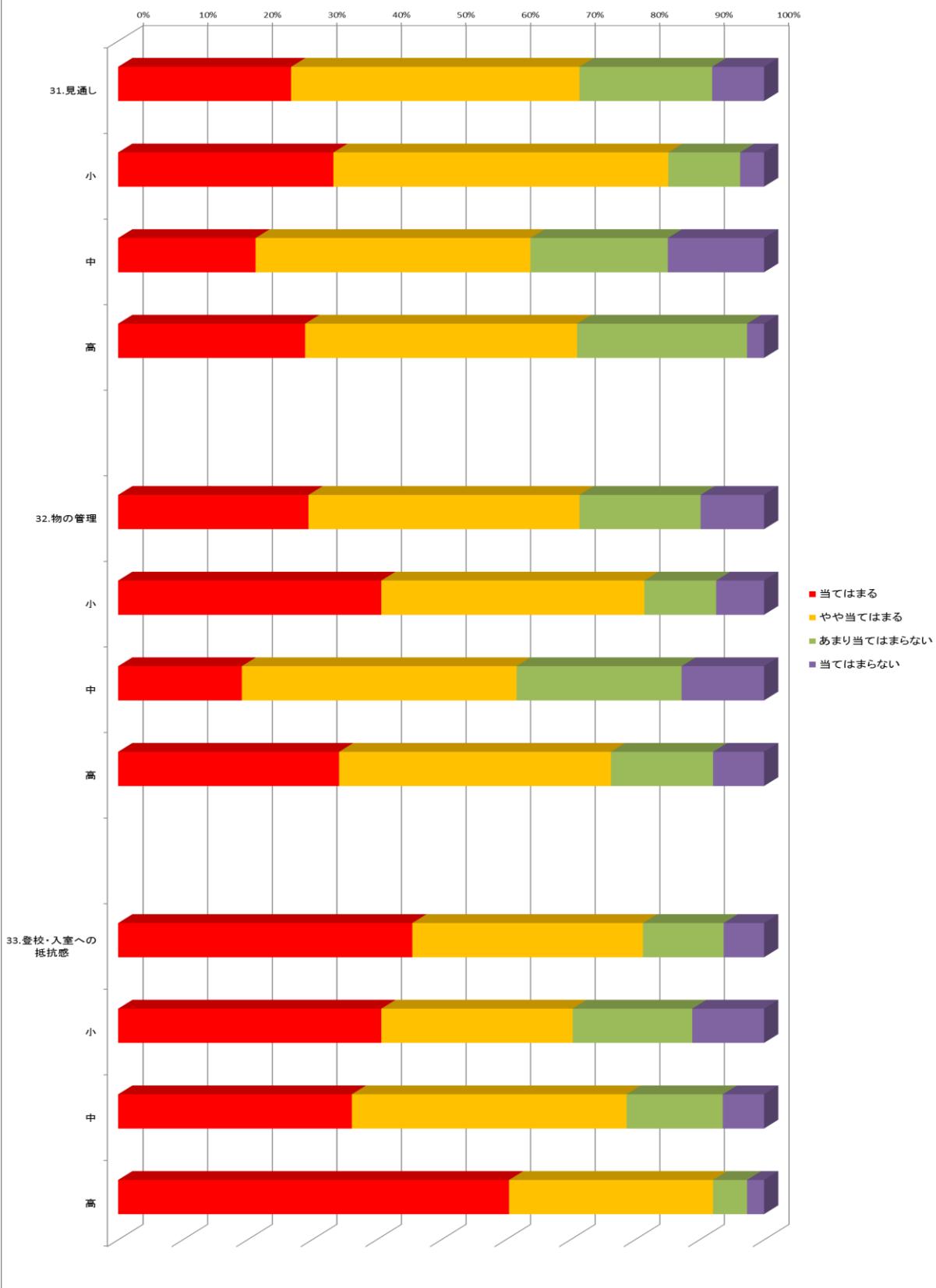
### 精神疾患等のある児童生徒の教育的ニーズ(学習)



## 精神疾患等のある児童生徒の教育的ニーズ(身体)



### 精神疾患等のある児童生徒の教育的ニーズ(学校生活)



# 学校訪問調査について

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
病弱班

## 1. 調査の目的

特別支援学校(病弱)の先生方から、精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズに関する情報をいただくことを目的としています。

## 2. 調査の対象

特別支援学校(病弱)の先生方で、精神疾患及び心身症のある児童生徒への指導経験がある方を対象としています。

## 3. 調査の方法

病弱教育班所属の研究員1～3名が学校に訪問して、司会進行をしながらワークシートを使った作業と協議を行います。事前に当日参加可能な先生方を4、5名程度のグループ(できるだけ所属学部(小・中・高)ごと)に分けておいていただけだと、スムーズに始められると思いますので、可能な範囲でよろしくお願ひいたします。

それでは、以下に、当日の大まかな流れを示します。

(1) 本調査の説明(研究の概要、調査の進め方等)を行う【5分】

(2) ワークシートを使った作業を行う【30分】

※これまでの指導経験を想起していただきながら、精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズについて書いていただく作業です。

※事前に答えを準備しておいていただくような内容ではありませんのでご安心ください。

(3) 教育的ニーズや指導上の課題についてグループ協議を行う【20分】

(4) グループ協議の結果を全体で共有する【10分】

## 4. 準備物

お手数をおかけいたしますが、本調査の実施に当たり、以下の物品のご準備をよろしくお願ひいたします。また、会場はグループ毎に作業や話し合いがしやすいような形でご準備いただければと思います。

(1) 全体：(可能であれば)プロジェクター、スクリーン



(2) 先生方個人：筆記用具、必要に応じて飲み物

## 5. その他

調査終了後は、病弱教育に関する研究成果やトピックスについて紹介させていただく時間をいただければ幸いです。その内容や時間については、後日、担当の先生とご相談させていただきたく思います。



先生方のご協力に感謝申し上げます。なお、ご不明な点等がありましたら、下記のアドレスにご連絡ください。

基幹研究「精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究」

## 精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する調査

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所病弱班

### I. 調査の目的

本調査は、精神疾患及び心身症(以下、「精神疾患等」という)のある児童生徒の教育的支援・配慮を専門的立場の特別支援学校の実践を集約することを目的としております。

支援・配慮を考える上での、教育的ニーズ(※)は、平成28年度の予備的研究で検討した40項目としております。

### II. 調査対象

精神疾患及び心身症のある児童生徒への指導経験がある特別支援学校(病弱)の教員

### III. 調査方法

精神疾患等のある児童生徒の教育的ニーズについて、以下の二つの方法で調査します。

調査方法1 グループワーク形式で、一斉に行う(約65分;標準)。

(1)本調査の説明を行う。【5分】

(2)ワークシートを使った作業を個人で行う。【30分】～【状況により増加】

※これまでの指導経験した事例(仮想または複合でも可能)における教育的ニーズをチェックする(○、複数事例の場合は、◎●等を使用)。その中で、重要と考えるニーズを4つ選択し、それぞれの教育的な支援・配慮の実践例を記載する。時間に余裕がある場合は、さらに追加する。

(3)ワークシートを基に、教育的支援・配慮についてグループ協議を行う。【20分】

(4)グループ協議の結果を全体で共有する。【10分】

調査方法2 各個人で、時間のある時に記入する(約60分程度)

(1)本調査の説明文を読む。

(2)ワークシートを使った作業を個人で行う。【上記と同じ】

(3)特別支援教育総合研究所に送付する(各学校単位)

### IV. 調査結果の公表について

本調査の結果を資料として用いる研究の成果は、学会や報告書、Webサイト等で公表する予定です。その際、回答者個人が特定される形での公表は一切行いません。また、回収した調査結果は厳重に保管し、研究目的以外で使用することは一切ありません。

### V. 同意の有無について

本調査の趣旨をご理解いただき、同意の有無について回答いただきますようお願い申し上げます。

同意する

同意しない

回答者氏名 \_\_\_\_\_

### ※本調査における「教育的ニーズ」の定義

子どもの学習上または生活上何らかの教育的な配慮が必要であると考えられるとの総称

1. あなたがこれまで指導してきた精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮について伺います。

(1)どの学部の児童生徒を想定するかについて、該当するもの一つにチェック(✓)を記入してください。  
小学部児童    中学部生徒    高等部生徒

(2)精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズのチェックリストの各項目について、事例(最初の説明を参照)に該当する教育的ニーズについて、チェック欄に○を記入して下さい(複数事例の場合は、●◎使用)

(自立活動 健健康の保持 心心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身身体の動き コミュニケーション)

教育的ニーズの項目(内容の参考例)	チェック欄	自立活動(確認用)
1. 不安・悩み (不安が強い、悩みが頭から離れない)		健 心 人 環 身 コ
2. 感情のコントロール(気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう)		健 心 人 環 身 コ
3. こだわり (一つのことにつこだわると他のことが考えられない)		健 心 人 環 身 コ
4. 意欲・気力 (目標がもてない、やる気が起きない)		健 心 人 環 身 コ
5. 自己理解 (何が辛いのか自分でも分からない)		健 心 人 環 身 コ
6. 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に表せない)		健 心 人 環 身 コ
7. 情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまう、イライラする)		健 心 人 環 身 コ
8. 気分の変動 (気分の浮き沈みがある)		健 心 人 環 身 コ
9. 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		健 心 人 環 身 コ
10. 集団活動 (集団の中にいると疲れる、ルールに従えない)		健 心 人 環 身 コ
11. 社会のルールの理解		健 心 人 環 身 コ
12. コミュニケーションスキル (あいづちがうてない、人の話が聞けない)		健 心 人 環 身 コ
13. 同年代との関係 (相手のことを考えた言動ができずトラブルになる)		健 心 人 環 身 コ
14. 家族との関係 (家族との関係がうまくいかない)		健 心 人 環 身 コ
15. 教師との関係 (教師を信用しない)		健 心 人 環 身 コ
16. 異性との関係		健 心 人 環 身 コ
17. 他者への信頼 (人が信用できない、人とかかわりたくない)		健 心 人 環 身 コ
18. 他者への相談 (困った時に相談できない)		健 心 人 環 身 コ
19. 他者理解 (表情や態度から気持ちが読み取れない)		健 心 人 環 身 コ
20. 学習状況 (勉強の仕方が分からない)		健 心 人 環 身 コ
21. 処理能力 (書きながら聞く等、2つの作業を同時に出来ない)		健 心 人 環 身 コ
22. 聞き取り・理解力 (話を聞いても理解できない、指示内容が分からない)		健 心 人 環 身 コ
23. 読み・書き (文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)		健 心 人 環 身 コ
24. 記憶力 (すぐに忘れてしまう)		健 心 人 環 身 コ
25. 注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)		健 心 人 環 身 コ
26. 学習への意識 (嫌いな教科に出たくない)		健 心 人 環 身 コ
27. 経験 (生活経験が低い)		健 心 人 環 身 コ
28. 身体症状・体調 (お腹や頭が痛い、過呼吸や喘息がおこる)		健 心 人 環 身 コ
29. 巧緻性 (手先を使って操作することが指示通りできない)		健 心 人 環 身 コ
30. 動作・体力 (体力がない、動きがはやくできない)		健 心 人 環 身 コ
31. 多動性 (じっとしていられない、待てない)		健 心 人 環 身 コ
32. 感覚過敏 (においに敏感、大きな声が嫌)		健 心 人 環 身 コ
33. 見通し (予定の変更が受け入れられない)		健 心 人 環 身 コ
34. 物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		健 心 人 環 身 コ
35. 登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れないと)		健 心 人 環 身 コ
36. 睡眠・生活リズム (朝起きられず遅刻してしまうことが多い)		健 心 人 環 身 コ
37. 食事 (給食が食べられない、外食ができない)		健 心 人 環 身 コ
38. 服薬 (薬が手離せない、薬の管理が面倒)		健 心 人 環 身 コ
39. 病気の理解 (自分自身の病状を理解していない)		健 心 人 環 身 コ
40. ストレスへの対処 (ストレスへの対処、苦手なことから逃れたい)		健 心 人 環 身 コ
※ その他(例:清潔 )		健 心 人 環 身 コ

(3)(2)で該当する教育的ニーズに対して、重要と考える4項目を選択し、実際に行った教育的な支援や配慮(指導を含む)について、※記入例を参考に、具体的に記入して下さい。そのねらいについて、自立活動の6分野を参考に簡単に記載して下さい。支援・配慮例は「複数」の記載可能です。

項目	記入欄
①教育的ニーズの項目	
②課題	
③支援・配慮等のねらい	
④自立活動として指導している内容 ※未記入でも可	健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーション
⑤教育的支援・配慮 (上記の自立活動以外)	

項目	記入欄
①教育的ニーズの項目	
②課題	
③支援・配慮等のねらい	
④自立活動として指導している内容 ※未記入でも可	健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーション
⑤教育的支援・配慮 (上記の自立活動以外)	

項目	記入欄
①教育的ニーズの項目	
②課題	
③支援・配慮等のねらい	
④自立活動として指導している内容 ※未記入でも可	健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーション
⑤教育的支援・配慮 (上記の自立活動以外)	

項目	記入欄
①教育的ニーズの項目	
②課題	
③支援・配慮等のねらい	
④自立活動として指導している内容 ※未記入でも可	健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーション
⑤教育的支援・配慮 (上記の自立活動以外)	

2. 精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮についてグループ協議及び発表を行います。【30分】

教育的支援・配慮について、グループで討議しましょう。下記には、その時に感じたことをメモして下さい。

※最後に、以下の2点についてお答えください。

●教職経験(\_\_\_\_年) 特別支援学校(病弱)及び病弱・身体虚弱特別支援学級経験(\_\_\_\_年)

●実際に指導した精神疾患及び心身症のある児童生徒の人数(約\_\_\_\_\_人)

※そのうち、学級担任として指導した児童生徒の人数(約\_\_\_\_\_人)

ご協力ありがとうございました。





調査結果について質的分析を行った教育支援・配慮例

「連續性のある多相的多階層支援:Continuous Multiphase and Multistage educational support [Co-MaMe]」

による【支援・配慮のイメージ図】

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

National Institute of Special Needs Education

## 連續性のある 多相的多階層支援

Continuous Multiphase and Multistage educational support

## Co-MaMe: こまめ

による【支援・配慮のイメージ図】

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

病弱班

### 項目内での支援の連續性

#### 受容期

教員(担任)から、気持ちを落ち着かせて共感や受容をしながら、  
活動する上での土台を築く段階

#### 試行期

教員(担任)との関わりの中で、気持ちや行動の振り返りを行いながら、  
少しずつ取り組む段階

#### 安定期

友達や社会との関わりの中で、自分にあった対処方法を見つけて行いながら、  
目標に向けて取り組む段階

## A1. 不安・悩み (94)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・不安が強いため教室に入れず、強迫的な行為や暴言・暴力がある
- ・見通しをもてずに自信がなく、新しい活動を嫌がる
- ・心配が強くて経験の幅が広がらないため、進路に不安がある

受容期  
(37)

#### \* 気持ちを聞く(18)

- ・話したい時にじっくり聴き、認める
- ・イライラすること等、感情を言葉にできるようにする

#### \* 共感、理解する(4)

- ・その時に出来ていることをほめる
- ・否定的な言葉を使わずに接する

#### \* 無理なく好きな活動ができるようにする(15)

- ・本人が好きな活動を行う
- ・授業はゆっくり進めて会話を増やし、学習量を減らす
- ・不安になりやすい場所、時間は避ける

#### \* 相談しながら行えるようにする(15)

- ・行ったことを振り返り、落ち着ける方法や対処の仕方と一緒に考える

試行期  
(35)

#### \* 見通しをもたせる(15)

- ・学校のルール・日程、活動内容を板書や手元で視覚的に提示する
- ・初めて体験すること、場所、内容を詳しく説明

#### \* スモールステップで行う学習設定(5)

- ・一つ一つ見本を見せたり、練習したりしてから行う
- ・少しずつ離れて一人で活動できるように見守る

定期期  
(22)

#### \* 対処方法を考え取り組めるようにする(8)

- ・ロールプレイを行い、適切な行動を考えて練習する
- ・あらかじめ対策を立てられるようなスキルを身につける

#### \* 目標を設定して学習(9)

- ・目標を細かく設定し、達成したら変容に気付かせる
- ・目標をクリアできない原因やその対策を考えさせる

#### \* 将来に向けて学習する(5)

- ・高校進学についての知識を身に着けられるようにする
- ・実習で困った場合の対応方法を身に付けられるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## A2. 感情のコントロール (159)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・すぐに感情が爆発して暴言、暴力をしたり、教室を飛び出したり、ひきこもりや自傷行為をしたりする
- ・教員の話を聞いたり、対話したりできず、不満を教員にぶつける
- ・イライラして不安になり授業に集中できず、友達と活動できない

受容期  
(87)

#### \* クールダウン、気分転換ができるようにする(24)

- ・一人になりクールダウンできる場所へ行き、教室を離れる
- ・興味のあることをしたり大声を出したりして気分転換する

#### \* プロblemへの対応 (9)

- ・暴れたら周囲の生徒も配慮し、複数の教員で対応する
- ・トラブルとなっている生徒とは離す

#### \* 気持ちを聞く(32)

- ・気持ち、不満やイライラした事を言葉や文字で伝える
- ・信頼している教員が聞く

#### \* 共感、理解する(8)

- ・暴言や暴力、悲しみ、苦しみを共感する
- ・一貫して支える存在であることを伝える

#### \* 無理なく好きな活動ができるようにする(14)

- ・様々な活動を複数用意して、できないことを無理にさせない
- ・沢山好きな活動を設定して、楽しい気持ちになるようにする

試行期  
(37)

#### \* 相談しながら行えるようにする(32)

- ・不適切な行動になる前に相談する
- ・暴言や暴力、トラブル等の不適切な行動を一緒に考える

#### \* ほめる機会を増やす(5)

- ・感情をコントロールできたときは意識的に褒める

定期期  
(35)

#### \* 対処方法を自分で考えて行えるようにする(27)

- ・リラックスやクールダウンできる方法を考えて行う
- ・一番落ち着ける環境や方法を考えて実践

#### \* 集団や友達と取り組む設定(3)

- ・クラスで楽しめる活動を行い、コミュニケーション能力を高める
- ・アンガーマネジメントを友達と行っていく

#### \* 自分から伝えられるようにする(5)

- ・辛いこと等を早めに教員に伝えて相談できるようになる
- ・イライラしたときどうするか児童生徒から伝える

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

### A3. こだわり (36)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

#### 課題

- 一つのことが頭から離れず不安になり、自分で決まりをつくって暴言を吐く
- 意識が一つのこと集中してしまい、思った通りに運ばずにイライラする
- 一つのことにこだわってしまい、気持ちの切り替えができない

受容期  
(17)

#### \* 気持ちを切り替えるようにする(8)

- 行う回数や時間を決めたり、声掛けして次の行動を促す
- 目の前のやりたいことからやるべきことに意識を向けさせる

#### \* 共感、理解する(5)\*

- 否定せず、納得するまで待つ
- こだわっていることに共感する

試行期  
(13)

#### \* 無理せずにしていく(4)

- 確認など、こだわっていることを一緒にする
- 過度の負担にならないように行動を制限する

#### \* 見通しをもたせる(10)

- 流れやスケジュールを伝え、いつまでやるかを明確にする
- トイレの時間、場所を相談する
- こだわっていることに時間をかけないように、事前にやるべき内容を確認する

#### \* 相談しながら行えるようにする(3)

- 何にこだわっているのか、他の方法はないか相談する
- こだわりを共有する

定期期  
(6)

#### \* 折り合いをつけられるようにする(3)

- こだわりにどのように付き合うか支援する
- 自分の特徴を理解し、折り合いのつけ方を身につける

#### \* 自分から取り組めるようにする(1)

- こだわっていることを自分で対処できるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

### A4. 意欲・気力 (21)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

#### 課題

- やる気がなくて表現が乏しく、登校できない
- 見通しがもてずに自信がなく、学習に集中できない
- 行事・集団で取り組む事が苦手で、目標がもてない

受容期  
(6)

#### \* 無理なく好きな活動ができるようにする(3)

- 落ち着いて学習できる場所で取り組む
- 楽しみにしている活動を取り入れる

#### \* 個別に語りかける(3)

- 気持ちを落ち着かせながら話す
- 個別にほめる

試行期  
(8)

#### \* スモールステップで取り組む学習設定(5)

- 簡単すぎず難しそうない内容を学習する
- 成功体験・達成感を少しづつ積み上げる
- 登校できるまでを段階的に目標を示す

#### \* 行動や気持ちを振り返るようにする(1)

- 行動や発言等をカード等で振り返る

#### \* 生活を整えるようにする(2)

- 服薬・睡眠・食事のリズムを整える

定期期  
(7)

#### \* 集団や友達と取り組む設定(2)

- 個別対応から集団授業に取り組んでいく
- 集団活動で成功体験・達成感をもたらせる

#### \* 自分から伝えられるようにする(1)

- やりたい活動を自分から言えるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## A5. 自己理解(44)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・辛い気持ちを伝えられずにパニックになり、行動できない
- ・何をしたら疲れるか分からず、イライラしたことを振り返れずに、どんな気持ちか分からない
- ・気持ちを整理できず、自分を過大評価して、目標設定が難しい

受容期  
(7)

#### \* 気持ちを聞く(5)

- ・いつでも気持ちや本音を聞き、共感できるようにする

#### \* 休息、クールダウンできるようにする(2)

- ・適宜休息をとり、パニックになったらクールダウンする

試行期  
(15)

#### \* 行動や気持ちを振り返れるようにする(6)

- ・面談でプリントに記入しながら、行動や気持ちを振り返る
- ・クールダウンした後に今後どうするか共に振り返る

#### \* 見通しを持たせる(5)

- ・教員が手本を見せる
- ・スケジュールを見ながらこれからの行動をイメージする

#### \* スモールステップで取り組む学習設定(4)

- ・スモールステップで取り組み、少しでも出来たときに褒める

#### \* 気持ちの整理ができるようにする(5)

- ・その気持ちになった具体的な場面や経緯を絵・言葉で整理できるようにする

#### \* 自分の特徴を理解できるようにする(3)

- ・自分を知るために好きなこと・嫌いなこと、長所・短所等をまとめる

定期期  
(22)

#### \* 自分にあった行動や生活を理解する(5)

- ・生活リズムの見直して学習と休憩のバランスをとれるようにする
- ・体調に応じて活動を選択できるようにする

#### \* 集団や友達と取り組む設定(2)

- ・他の生徒の意見・体験を聞き、他者を理解できるようにする

#### \* 自分から取り組めるようにする(3)

- ・日常生活の場面で、自分から行動したり、気持ちを表現したりする方法を学ぶ
- ・配慮して欲しいことを考えて、言えるようにする

#### \* 様々な活動を実施する(2)

- ・進路学習や様々な行事に参加し、経験を増やす

#### \* 目標を設定して学習する(2)

- ・目標設定を行い、クリアできたら評価していく

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## A6. 気持ちの表現 (103)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・感情をため込み、怒って騒ぎ、暴言を吐く
- ・黙り込んで、イライラして暴れる
- ・嫌なことを伝えられず、気持ちと裏腹の表現をしたり、態度で表したりする

受容期  
(53)

#### \* 気持ちを聞く(35)

- ・個別に対応し、待ちながら少しづつ聞き、落ちつくまで側にいる
- ・表情等から気持ちを読みとり、早めに相談や対応をする
- ・気持ちをカードや例など選べるようにし、伝えられたらほめる

#### \* 共感、理解する(7)

- ・話したときは本人の気持ちを真摯に受け止め、認めて、希望を満たす
- ・一緒に考えていくという姿勢を見せる

#### \* 無理せずにやっていく(7)

- ・強くかかわらず、無理に返事を求めない
- ・授業にとらわれず、落ち着くところに移る
- ・外に出て行った時は追いかけない

#### \* 安心できる環境作り(4)\*

- ・気持ちを発散したり、思いを伝えられるような人間関係を大切にした雰囲気作り

#### \* 気持ちを伝えられるようにする(18)

- ・挨拶からはじめ、少しづつ感情を表現できるように促す
- ・気持ちを点数で表現したり、文字で表したりする
- ・教員が気持ちを表現して、言葉・タイミングを伝えていく

#### \* 行動や気持ちを振り返るようにする(5)

- ・粗暴行為や言葉を振り返りながら、理由と一緒に把握していく

#### \* 気持ちの整理ができるようにする(12)

- ・話を聞きながら、原因や対処法を探る
- ・ゲーム感覚で、気持ちを表現して、気持ちの整理の仕方を学び、自分の感情に気づけるようにする

#### \* 集団や友達と取り組む設定(3)

- ・色々な環境で人と接し、周りの人の感情に気付くようにする

#### \* 表現方法の学習(10)

- ・発表する機会を増やし、助言しながら言葉を引き出していく
- ・国語等で学習を積み重ねて、語彙力や表現する方法を増やす

#### \* 自分自身の内面と向き合えるようにする(2)

- ・連絡ノートや面談などで振り返り、伝え方を教えながら、より深く自分と向き合い、表現できるようになる

定期期  
(15)

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

A7. 情緒の安定 (93)

課題

- ・大声を出して泣いたり、物に当たり、自傷行為をする
- ・クールダウンできずに、教室から飛び出したり帰ったりする
- ・過去のことを思い出してイライラし、安定した気持ちで過ごせず、授業に出られない

受容期  
(50)

- \* クールダウン、気分転換できるようにする(16)
- ・一人になれる場所を確保して、落ちつくのを待つ
  - ・怒りが頂点になる前に声をかけ、気持ちを切り替えられるようにする
  - ・別室に移動して暴言・暴力が出ないようにする

試行期  
(24)

- \* 無理なく好きな活動ができるようにする(13)
- ・やりたいもの、得意で達成感の持てるものに取り組む
  - ・落ち着いて過ごせることを準備して選べるようにする
  - ・不安な時は認めて、無理に学習や活動をしない

定期期  
(19)

- \* 見通しをもたせる(10)
- ・日程や生活、学習の流れを書いた物を板書や机上に置き確認する
  - ・活動を途中で止めたり、変更したりすることが出来ることを伝える
- \* 行動や気持ちを振り返るようにする(9)
- ・イライラする出来事の振り返り、「大丈夫」という声かけをする
  - ・振り返りカードを見ながら毎朝、気持ちを確認していく

\* 気持ちを聞く(15)

- ・原因や気持ちについて、時間かけて丁寧に話を聞く
- ・無理せずに気持ちを文字や記号、カードで伝える

\* 共感、理解する(3)

- ・考えを否定せず、話を聞き共感する
- ・言葉で伝えられたことをほめる

\* 安心できる環境作り(3)

- ・イライラするものから離れて安心して過ごす

- \* 気持ちの整理ができるようにする(5)
- ・なぜそうなったか考えて整理して、どうすれば良かったかを考える

\* 集団や友達と取り組む設定(2)

- ・友達と一緒に取り組む中で、成功や失敗を繰り返していく

\* 感情を安定させる方法を学ぶ(2)

- ・感情のメカニズムを知り、コントロールする方法を学ぶ

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

A8. 気分の変動 (35)

課題

- ・機嫌が悪くなったり、イライラしたりして、支援を拒否する
- ・疲労などから気持ちが大きく変化し、登校が不安定になる
- ・気分によって授業に集中したり、活動に取り組めない

受容期  
(16)

- \* クールダウン、気分転換できるようにする(6)
- ・一人になって、静かに見守り、落ち着いてから活動に取り組めるような環境を作る
  - ・好きなことをして気分転換し、心理的な安定を保てるようにする
- \* 無理せずにしていく(3)
- ・気持ちが落ち込んでいる時は無理はさせない

試行期  
(12)

- \* 気持ちを伝えられるようにする(3)
- ・登校した時の気持ちや授業の参加の仕方を伝えられるようにする
- \* 行動や気持ちを振り返るようする(4)
- ・振り返りながら、同じような状態になる時の対処を考える
  - ・一日や一週間を振り返って、気分を印でつけたり、日記に書いたりする

定期期  
(7)

- \* 自分から取り組めるようにする(4)
- ・状態を伝えて、自主的に学習する時間や場所を決められるようにする

\* 話を聞く、共感する(4)

- ・話せるようになったらじっくり話を聞き、受け入れる
- ・悩みがあった時に相談できる信頼関係を構築する

\* 安心できる環境作り(3)

- ・丁寧に声をかけながら、慣れた場所で一対一で学習する

\* 相談しながら行えるようする(2)

- ・登校時間や落ち着く場所で相談する

\* 見通しをもたせる(3)

- ・登校時間を安定させ、日程を意識して行動できるようにする

\* 集団や友達と取り組む設定(3)

- ・友達との活動を多く設定し、進んで参加したり、一定の気分を保つたりできるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## A9. 自信 (166)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・失敗を恐れ、間違えたときに自分を攻める
- ・過去の経験から自己肯定感が低く、新しいことなどはやる前から出来ないと決めてしまう
- ・挫折感が強く、目標が決められず、将来への意欲が持ちにくい

### 受容期 (34)

- \* 無理なく楽しい活動を行う(17)**
  - ・自信のあることや失敗しない課題を設定
  - ・ゲーム感覚で楽しく行う
- \* 安心できる環境作り(10)**
  - ・話しやすい安心できる雰囲気をつくる
  - ・失敗しても大丈夫という環境を作る
- \* 共感、理解する(7)**
  - ・苦手なことを肯定的に受け入れる
  - ・気持ちを自由に表現させ受け止める

### 試行期 (53)

- \* 相談しながら行えるようにする(11)**
  - ・不安や人間関係等の躊躇を定期に教員と相談する
  - ・良かった行動を振り返り、取り組む方法を本人と考える
  - ・悲観的にならず、不満や納得する方法を言葉にしていく
- \* 見通しをもたせる(5)**
  - ・事前に説明したり、やってみせて興味や見通しを持たせる
  - ・どこまでやればよいか分かりやすく示す
- \* 素モールステップで行う学習設定(20)**
  - ・小さな成功体験・達成感を積み重ねて、少しづつ自己肯定感が高まる工夫
  - ・適切な負荷で少し頑張ればできることを行う
  - ・個別の学習や小集団で少しづつ参加していく
- \* ほめられる機会を増やす(17)**
  - ・日常の小さなことを沢山ほめて自信をつける
  - ・「頑張ってるね」と声かけて、取り組んでいる様子もほめる

### 定期期 (79)

- \* 自己評価を行えるようにする(10)**
  - ・毎日、一週間ごとにチェック表で自己評価
  - ・自己評価から、自分の良さを知る
- \* 目標を設定して学習する(6)**
  - ・できる目標を考えて達成し成就感を得る
  - ・目標を達成するためのプロセスも相談して行う
- \* 気持ちを聞く(2)**
  - ・様々な活動を行い、チャレンジする意欲を高める
- \* ほめられる機会を増やす(4)**
  - ・活動を選んで主体的に行う
  - ・気持ちを自分から言葉にする
- \* 集団や友達と取り組む設定(20)**
  - ・係活動・日直等、周囲の中で役割を果たして人に役立つといふ気持ちを育てる
  - ・行事での活動から充実感を共有して仲間意識を育む
- \* 様々な活動を実施する(4)**
  - ・就労に向けて練習をする
  - ・今後も悩みは続くが、解決できる力があることを伝える
- \* 将来に向けての活動設定(4)**
  - ・就労に向けて練習をする
  - ・今後も悩みは続くが、解決できる力があることを伝える
- \* 学力を高める(6)**
  - ・集中して学習して、達成感や学力の高まりを感じられるようにする
- \* 他の人の評価を得る(23)**
  - ・学校行事で発表し、他者からの評価を得られるようにする
  - ・人に喜んでもらえる活動を行う
- \* 苦手なことに取り組めるようになる(2)**
  - ・苦手なことに取り組み、手だてを準備出来るようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B1. 集団活動 (65)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・自身がなく、コミュニケーションが苦手で、みんなと一緒にいることが難しい
- ・集団での活動を嫌がり、一緒に活動できない
- ・集団の中でルールに従って、活動できない

### 受容期 (15)

- \* 安心できる環境作り(8)**
  - ・安心できる環境設定
  - ・教員が一緒に活動して不安を和らげる
- \* 気持ちを聞く(2)**
  - ・話を良く聞く
  - ・授業内容に苦手意識や不満がある場合は、本人の希望を聞く
- \* 休息、クールダウンができるようになる(2)**
  - ・落ち着く場を作り、辛くなったらその場を離れされることを話しておく

### 試行期 (30)

- \* 見通しをもたせる(13)**
  - ・集団活動の前に、不安が減るような情報を多く与える
  - ・見通しを視覚的に示して活動させる
  - ・事前にその場に行き、場所になれておく
- \* 無理なく好きな活動ができるようになる(3)**
  - ・本人が好きな内容、分量や個別の課題を行う
- \* 相談しながら行えるようになる(6)**
  - ・疲れた時に、どうするか本人と相談する
  - ・事前に集団に参加する時間、活動内容を相談する
- \* 集団構成や時間を工夫する(4)**
  - ・参加する集団のメンバーや人数、時間
- \* 気持ちを振り返るようになる(3)**
  - ・思ったことや気持ち、体調、授業の様子を振り返る
- \* スモールステップで行う学習設定(4)**
  - ・集団の人数、活動内容、時間の長さなど、できるところまで行うことで慣れていく

### 定期期 (20)

- \* ルールを守れるようになる(7)**
  - ・活動前や放課後にルールを確認したり、守れたか振り返る
- \* 他の人を意識できるようになる(4)**
  - ・他人が緊張したり、間違った行動をした時の様子を確認して、他の人に嫌な感情をもたないようにする
- \* 自分の気持ちに気付き行動できるようになる(5)**
  - ・緊張した時の行動や気持ちに気付き、ペース配分を考えたり、相手に合わせた行動をしたりする
- \* 集団活動を通して学べるようになる(4)**
  - ・集団活動での個々の役割や大切さを知り、係や生徒会活動などへの参加意欲を高める

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B2. 社会のルールの理解 (33)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・自分勝手な行動をして、嫌な思いをしたら粗暴行為をする
- ・イメージが持てず、自分でルールを作り上げてしまう
- ・学校のルールを守れず、破ってしまう

受容期  
(7)

#### \* 無理せず行っていく(3)

- ・無理せず、本人が話すようになるまで根気よく待つ

#### \* 安心感できる環境作り(4)

- ・温かく受け入れる姿勢で、見守っていく

試行期  
(16)

#### \* 分かりやすく掲示する(6)

- ・確認したルールをビジュアルにして掲示したり、ファイルに綴る

#### \* 行動や気持ちを振り返るようにする(3)

- ・行動について理由を聞く等、行動を振り返る

#### \* 相談しながら行えるようにする(5)

- ・事例を伝えながらルールについての意識を高めていく

定期期  
(10)

#### \* 自分から意識できるようにする(4)

- ・自分からしてはいけないことに気付き、意識できるようにする

#### \* 将来に向けての活動設定(4)

- ・今後の生活をイメージして実際に活動しながら、ルールの理解につなげる

#### \* 相手の気持ちを考えられるようにする(2)

- ・具体的な行動をあげて、相手の気持ちを考える

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B3. コミュニケーションスキル (52)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・意思表示が難しく、暴言を吐き、トラブルになることがある
- ・人の話が聞けず、気持ちの整理が難しい
- ・相手のことを考えて発言できず、人と上手くかかわれない

受容期  
(10)

#### \* 気持ちを聞く(3)

- ・興味のあることや好きなことなどから、気持ちを聞いていく

#### \* クールダウン、気分転換できるようにする(2)

- ・イライラしたり、怒ったりした時等は、落ち着ける場でクールダウンする

#### \* 安心して表現できる活動設定(5)

- ・話しやすい環境の中で、声掛けをしながら活動を行なう

#### \* 行動を振り返るようにする(5)

- ・行動を振り返り、伝え方や言葉遣いを確認する

#### \* ほめて自己肯定感を高めるようにする(3)

- ・良い言葉遣いの時はほめたり、評価したりして自己肯定感を高める

#### \* 伝える方法を理解できるようにする(7)

- ・あらかじめ話す内容を考え、パターンを用意しておく
- ・見本を示して伝え方を理解できるようにする

#### \* 気持ちや考えを整理できるようにする(5)

- ・板書して聞き、どんなことを伝えたいのかを整理していく

#### \* 集団や友達と取り組む(7)

- ・そこにいるメンバーで、その時の発言について話し合う
- ・ペアや小集団で他者と関わる機会を増やす

#### \* 自分から取り組めるようにする(5)

- ・一人で振り返ったり、考えをまとめられるようにする
- ・参加できないことや理由を担任に伝えられるようにする

#### \* 状況に応じた行動ができるようにする(5)

- ・場面設定して適切なふさわしい話し方を考える
- ・学習や自由時間の中で、状況に応じた行動を身につける

#### \* 相手の気持ちを考えられるようにする(5)

- ・話した言葉によって相手がどう感じるか、考える機会をもつ
- ・相手の気持ちを考えながら文章や絵を書いて渡す

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B4. 同年代との関係 (36)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・相手をせめてトラブルを招く
- ・相手のことを考えた言動ができない
- ・同年代の生徒と良好な人間関係を築くことが困難

受容期  
(7)

#### \* トラブルに対応する(2)

- ・好ましくない言動があった時にすぐに対応する

#### \* 気持ちを把握する(2)

- ・行動についてすぐ聞いたり、困っていることを連絡帳で把握したりする

#### \* 一緒に活動する(3)

- ・他の生徒と活動する時は教員が横につき、一緒に遊んだり、ルールを確認したりする

試行期  
(10)

#### \* 相談しながら行えるようにする(3)\*

- ・どのようにすれば良いか、一緒に考える
- ・個別の面談で、友人関係について相談する

#### \* 行動を振り返るようになる(3)

- ・行動について振り返り、状況や関係性を図などにする

#### \* 適切な発言を促す(4)

- ・その場で不適切な言動はアドバイスをし、良い言動はほめて自信を持たせる

定期期  
(19)

#### \* 状況に応じた行動や考えができるようにする(5)

- ・ロールプレイでの失敗や嫌な言動を体験し、実際の場面を通して適切な行動や考えを身につける

#### \* 周りの人の気持ちを考えられるようにする(4)

- ・絵や文章、具体的な場面から、多様な感じ方あること、自分の言動がどのように感じられているかを考える

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B5. 家族との関係 (27)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・親には甘えてしまい、暴言、暴力行為が出ててしまう
- ・家族との関係をうまく築けず、家出を繰り返す
- ・家族に自分の気持ちを伝えることができない

受容期  
(8)

#### \* 気持ちを聞く(4)

- ・学習中に疲れてしまった時には、個別に話す時間を設ける
- ・疑問や気になることを声を出して伝えるように促す

#### \* ストレスの軽減を図る(4)

- ・感情をため込まないように常に声をかける
- ・好きなピアノを弾いたり、曲を聴いたりして気持ちを落ち着かせる

#### \* 家族と協力する(3)

- ・父親に対して、子どもへ丁寧な語りかけをしてもらえるよう伝える
- ・こまめに母親へ連絡し、良かったことを伝えておく

#### \* 生活のリズムを整える(3)

- ・学校を休まないように本人・保護者に声をかける
- ・家出による不登校のための生活リズムを整える

#### \* 気持ちを整理できるようにする(3)

- ・気持ちと行動を振り返る
- ・家族に不満があった場合、どのように伝えれるかと一緒に整理する

#### \* ほめるようにする(1)

- ・本人がいる場所でほめて、自分の良いところを知る

#### \* 生活に必要な技術・態度を身につける(3)

- ・一人暮らしに必要なスキルを考え、取り組む
- ・毎日、登校する

#### \* 周りの人の良いところを考える(1)

- ・友達や教員の良いところを探す取組を行う

定期期  
(9)

#### \* 家族との関係改善を図る(5)

- ・家族の愛情表現や気持ちを理解する
- ・家族と過ごしたり、手紙を書いたりして気持ちを伝えられるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B6. 教員との関係 (73)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- 教員の配慮が足りないと、不満を訴え、不信感をもち暴言、暴力をする
- 前の学校とのトラブルで大人に不信感があり、特定の人としか話さず、登校しない
- 自分の思いが言えず、イライラして相手をすぐに否定してしまう

受容期  
(38)

#### \*他の教員と連携して取り組む(8)

- 苦手な教員とは当事者同士だけにならないようにする
- 対応する教員を変えたり、教員で役割分担をして関わる

試行期  
(24)

#### \*気持ちを受け止める(8)

- 過去の学校のことは話題にせず、不信感を受け止める
- 否定せず、不安を受け止められている感覚を持たせる

安定期  
(11)

#### \*信頼関係を築くようなかかわりをする(9)

- 寄り添うかかわりをして、大人への不信感を減らす
- 一緒に活動したり、話したりしながら信頼関係を築く

#### \*分かりやすく説明する(8)

- 視覚的に分かりやすいように、カードや図を使って説明する
- 本人の意見を聞きながら、分かりやすく説明する

#### \*行動を振り返る(6)

- 穏やかになった時に、気持ちが高ぶった時のことを考える
- 振り返り、原因や問題点に気付くように促す

#### \*自分から気持ちを言えるようにする(6)

- どのような時にイライラするか言えるように促す
- 不満や要求が言えるスキルを身につける

#### \*トラブルへの対応をする(4)

- 教員への暴言・暴力は、落ち着いてから養護教諭が対応する
- 興奮すると不信感が増すので、教員は冷静に対応する

#### \*気楽に話せるようにする(5)

- 日常会話を気楽に話していく
- 接しやすい大人と話しやすい時間、場所で話す

#### \*無理なく好きな活動ができるようにする(4)

- 授業にでることを無理に促さず、好きな活動をする
- 得意な活動や教員が話を教えてもらしながら取り組む

#### \*相談しながら行えるようにする(6)

- 個別に一緒に考える機会をもち、解決できたという経験を増やす
- 気持ちを整理できるように書き出して、本人の気づきを促す

#### \*無理のない方法で取り組めるようにする(4)

- 小集団で実態にあった内容、方法で学習する
- 無理せずに授業に参加している

#### \*様々な人と活動できるようにする(5)

- 接し方や、距離感、言葉使いを知り、多くの人と接することができるようになる

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B7. 異性との関係 (26)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- 異性が怖い、話せない、声を聞くだけでイライラする
- 異性への興味が強く、平等な関わり方、適切な距離感が分からない
- 相手が思い通りに応答をしてくれないと何もできない

受容期  
(8)

#### \*異性と離す(4)

- 言葉では難しいところがあり、異性との距離を工夫する

#### \*気持ちを落ち着かせる(2)

- 気持ちが落ち着かない時は、一人になったり、信頼している教員が側にいたりする

試行期  
(10)

#### \*同性との関係づくりをする(2)

- 同性の教員が信頼関係を作つて支える
- 同じ学年の同性の友だちと小集団で取り組む

#### \*

#### \*人の適切な距離を伝える(4)

- 距離が近い様子が見られたら、適切な距離の取り方を伝える
- 適切な声の大きさや話し方を伝える

#### \*無理なく集団で取り組む(3)

- 意欲を大切にしながら集団に参加して所属欲求を満たす
- 時間や場所を相談して無理なく集団参加する

安定期  
(8)

#### \*少しづつ異性と取り組む(3)

- 同性教員、異性教員の三名で取り組む
- 異性と小集団で、同性教員も一緒に活動する

#### \*異性との関わり方についての学習(3)

- 保健の授業等で異性との関係について学習する
- 具体的に場面を取り上げ、異性との関わり方を考える

#### \*集団での役割を与える(1)

- 生徒会など、リーダー的な役割を与える

#### \*他者のことを考えられるようにする(2)

- 関わり方等がどう思われるかを客観的に伝え、相手の気持ちを考える

#### \*自分の気持ちについて考える(2)

- なぜ恐怖心を感じるのか過去を振り返りながら考える

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B8. 他者への信頼 (54)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・他者を怖がり誤解して、相談したり、信頼したりしない
- ・他の人と会話をしたり、気持ちを話したりできず、ストレスを貯める
- ・他の人の関わり方が分からず、集団活動が苦手

### 受容期 (30)

#### \* 気持ちを聞く(11)

- ・気持ちや意見を最後まで聞き、受け止める
- ・趣味や好きなものから聞き、心理的な安定を図る

#### \* 信頼関係をつくるようにする(4)

- ・本人の気持ちに寄り添い、心のバリアを解く
- ・教員が裏切らず、人を頼る経験を積み重ねていく

#### \* 安心できる環境設定(5)

- ・関わる人を一定にして、行動を共通理解をしながら対応する
- ・定期的に面談を行い、甘えても良いという環境を作る

#### \* 人と関らずに過ごせるようにする(5)

- ・無理に関わらずに、一人の時間をもてるようになる
- ・他の生徒と無理に関わらせず、時差登校、個別指導を行う

#### \* 無理なく好きな活動ができるようにする(5)

- ・本人に聞きながら、楽しい経験を沢山する
- ・興味が同じ友だちとゲーム等で仲良く遊べるようにする

### 試行期 (20)

#### \* 相談しながら行えるようにする(3)

- ・どうすればできるか一つ一つ相談する

#### \* 振り返りをする(3)

- ・面談や授業で振り返りながら整理して、次の取組を考える

#### \* 他者と関われるようにする(8)

- ・他の生徒と作業をするなかで自然に関われるようになる
- ・無理のない範囲で集団活動の参加を促し、人と関る楽しさを経験する

#### \* 見通しをもたせる(4)

- ・事前に授業や行事の内容や集団について知らせる
- ・面談を通して学校生活の見通しをもたせる

#### \* 自信がもてるような学習設定(2)

- ・無理せず得意な学習に取り組み自己肯定感を高める

#### \* 相手の気持ちを理解できるようにする(1)

- ・相手の気持ちを理解する

#### \* 苦手なものに取り組む(2)

- ・面談を通して自分の課題を明らかにして取り組む

#### \* 自分から気付くようにする(1)

- ・教員が伝えずに、自分から気付いて取り組めるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

### 安定期 (4)

## B9. 他者への相談 (35)

Co-MaMeによる

【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・授業中に嫌なことがあると何も言わずにして行ってしまったり、暴れたりする
- ・体調が悪い時、困ったことがあった時、相談できない
- ・自分の体調や心情を伝えられない

### 受容期 (16)

#### \* 気持ちを聞いて受け止める(5)

- ・本人の要求や不安感を聞き、受け入れられる経験を重ねることで安心感を持たせる

#### \* クールダウン・休息ができるようにする(3)

- ・心身の状態に応じて、見学したり、別室に移動したりして休息やクールダウンができるようにする

#### \* 安心して表現できるようにする(5)

- ・ボードに記入したり、カードを見せたりする等で表現しやすくして、表現できたらほめる
- ・苦手なことや失敗した時などは、表情や態度から早めに声掛けして相談する

#### \* 信頼関係をつくるようにする(3)

- ・何気ない会話や面談を重ねて、信頼関係を築いていく

#### \* 相談しながら行えるようにする(3)

- ・定期的に面談を行い、相談しながら行うことに慣れる

#### \* 見通しをもたせる(3)

- ・苦手なことや困りそうなことは、事前に個別に取り組んだり、相談して不安感を減らす

#### \* 気持ちや行動を振り返るようになる(6)

- ・実際にあったことを振り返って、どうすれば良かつたかを考えていく

#### \* モデルケースから行動を考える学習設定(1)

- ・成功や失敗したモデルケースをあげて適切な行動を考える時間をもうける

### 試行期 (12)

#### \* 自分の特性から目標を設定させる(3)

- ・自分の特性を理解して、できる目標を設定して取り組む

#### \* 自分から伝えられるようにする(3)

- ・自分からやりたいことや、支援して欲しいことを伝えられるようにする

### 安定期 (7)

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## B10. 他者理解 (42)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・自己の中で他者のイメージを作り上げて見る傾向があり、強い口調で要求を伝える
- ・他人や自分の良いところが分からず、同世代の友だちと関わらない
- ・周囲の状況が理解できず、周りの友達の表情や言動から気持ちを読み取れない

受容期  
(7)

#### \* 安心できる環境設定(4)

- ・厳しくせずに落ち着いた態度で接し、楽しく活動するようにする

#### \* 他の人と関わり方を工夫する(3)

- ・教員や仲の良い友達と遊び、苦手な人とは空間的に距離をとるようにする

試行期  
(15)

#### \* 適切な他者との関わり方や感情を促す(5)

- ・その都度、適切な感情の持ち方、行動や発言の仕方、他者との距離の取り方を伝える

#### \* 気持ちや行動を振り返るようにする(4)

- ・嬉しかったり嫌だったりした時の気持ちや、問題行動について振り返る機会を設ける

#### \* 見通しをもたせる(3)

- ・自分がこれから行う行動や、学習内容を揭示する

#### \* 友達との関わり方を工夫する(3)

- ・ペアやグループを作るときに教員がフォローして、友達と関わりやすくする

定期  
(20)

#### \* 友達と気持ちや意見を伝えあう設定(8)

- ・相手の良いところ、自分の良いところをカードに書き、理解し合う活動を行う
- ・意見を通そうとしたときは、友達の意見を聞くように促す

#### \* 自己評価や目標を掲示して取り組む(2)

- ・目標や自分の特徴等を文字で書いて掲示する

#### \* 相手の気持ちや特徴を考えられるようになる(6)

- ・相手のことを意識して、相手が言われて不快となる表情をした時の気持ちを理解する
- ・相手は異なる考えをもっており、自分の思い通りにはならないことを知る

#### \* ルールについて理解する(4)

- ・ルールを具体的に示して、何のためにルールがあるのかを考える

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C1. 学習状況 (59)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・不登校の期間が長く、学習への苦手意識や拒否感が強い
- ・学習空白があり、下学年の内容や学習方法を指導する必要がある
- ・学習への意欲がわからず、不得意な教科に取り組まない

受容期  
(10)

#### \* 無理なく好きな活動ができるようにする(5)

- ・やりたくないことは無理強いせず、ゲームや制作活動など、楽しんで取り組める活動を行う

#### \* 安心して取り組める設定(5)

- ・苦手な生徒とは離し、短時間で、個別に取り組む
- ・サブの教員と情報共有を十分に行い、こまめに声をかける

#### \* 見通しが持てるようにする(7)

- ・学習の見通しを視覚的に示す
- ・個人用に作った学習の目安が分かるプリントを使用する

#### \* 分かりやすく提示する(4)

- ・本人が見やすいように教材や場所を工夫する
- ・選択できるように絵カードや写真を使う

#### \* 出来る内容を学習する(8)

- ・出来る内容を学習し、自信をつける
- ・理解度を把握し、出来そうなところから進める

#### \* ほめる機会を増やす(5)

- ・出来たときに大きな動作でほめる
- ・教員と生徒で一緒に喜ぶ機会を増やす

#### \* スモールステップで学習する設定(9)

- ・細かく学習内容を区切り、達成感を感じやすくする
- ・毎時間、個人用に負担の少ないプリントを作成して行う

#### \* 取り組みやすいように教材を工夫する(5)

- ・タブレット端末やパソコン等で楽しんで取り組めるように工夫する
- ・プリントは穴埋めや吹き出しなどで取り組みやすくする

定期  
(11)

#### \* 将来に向けて取り組む(6)

- ・地域に戻った時や検定など、目標を決めて取り組む
- ・何のために学習するか考えながら取り組む

#### \* 宿題や補習を行う(5)

- ・つまずいているところは放課後や昼休みに学習する
- ・担任が家庭学習を確認して、アドバイスなどのコメントをする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C2. 処理能力 (36)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・沢山の課題を目にあたりにすることでパニックになる
- ・不登校経験があり、書くのが遅く、板書を写すのが苦手
- ・聞きながら書く等の二つの作業を同時に行えない

受容期  
(10)

#### \*十分な時間をとる(3)

- ・できる限り待つ
- ・できるまで十分な時間をとる

#### \*安心できる環境設定(3)

- ・個別に話をじっくり聞き、ほめる
- ・失敗しても大丈夫と伝える

試行期  
(18)

#### \*無理なく取り組める活動を設定(4)

- ・教員の話を聞くことから取り組む
- ・ノートの記入は減らし、行っているか確認しながら進める

#### \*作業を絞る(8)

- ・見る、聞く、書く、考える活動を分けて行う
- ・プリントや板書等を穴埋めや短文にして、書く量を減らす

#### \*学習内容の見通しを持たせる(7)

- ・授業の流れを毎回、同じにして学習する
- ・記入する場所や音読する場所を短くはっきりと伝える

#### \*意欲を生かしながら取り組む(3)

- ・取り組む姿勢もほめて、意欲をいかして取り組む

安定期  
(8)

#### \*できることを増やす(5)

- ・聞きながら考えて書くことを行い、書く量を増やす
- ・待ってほしい時に、上手に耐えられるようにする

#### \*友達の様子を知る(3)

- ・周りの様子を見ながら活動できるようにする
- ・友達の話を聞き、人にはそれぞれ考え方や個性があることを知る

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C3. 聞き取り・理解力 (50)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・聞いていても分からないと言えず、ストレスをためて学校に来ることができなくなる
- ・指示や説明の聞き取りが難しく、集団活動についていけない
- ・文法や文章題を理解できない

受容期  
(18)

#### \*分かりやすく伝えるようにする(7)

- ・わかりやすい言葉でゆっくり話す
- ・表情を見ながら、丁寧にやりとりする

#### \*気持ちを理解する(5)

- ・困っていることや不安なことを聞いて受け止める
- ・分からないことが話しやすい雰囲気作りをする

試行期  
(27)

#### \*安心できる環境設定(6)

- ・注意などを極力しないで認める
- ・不安な時は気分転換して、無理強いしない

#### \*分かりやすく視覚的に教材を工夫する(10)

- ・色や下線、太字で示したり、イラストを使って学習内容を視覚的に分かりやすくする。

#### \*見通しをもたせる(4)

- ・絵カードで次の活動をその都度、確認する
- ・個人用クリアファイルに、その時間に取り組むプリントを入れておく

#### \*説明や活動を分かりやすく説明する(10)

- ・相手の理解を確かめながら、少しづつ説明する
- ・活動内容を細かく分けて、整理して伝える

#### \*自信をもてるようにする(3)

- ・問題が出来たらすぐにほめて自信をもたせ、次の課題もできると思わせる

安定期  
(5)

#### \*適切な発言ができる習慣を身に付ける(3)

- ・相手の会話を聞いた後に発言する習慣を身に付ける
- ・困る前に、分からないことが発言できるようになる

#### \*目標を決めて取り組む(2)

- ・目標となる絵や図、友達の言動から学び、行動できるようになる

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C4. 読み・書き (73)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・読むことや書くことに強い抵抗感があり取り組まない
- ・不登校等のため、学年相応の読み書きが定着していない
- ・文章を読んだり、漢字を覚えたりすることが苦手

受容期  
(7)

#### \* 丁寧に様子を見ながら取り組ませる(5)

- ・十分に時間をとり、個別に配慮しながら進める

#### \* 無理なく好きな活動から取り組むようにする(2)

- ・好きな絵本や動画、漫画を使って活動する

#### \* 楽しみながら学習できるようにする(7)

- ・ゲーム感覚、身体のアクション、言葉遊び、映像などを取り入れて楽しく言葉に親しむ

#### \* ほめて自信をつけさせる(5)

- ・読んだり、書いたりしようとした時にほめ、できた時にはさらにオーバーにほめる

#### \* 書く負担を減らして学習できるようにする(19)

- ・プリントはカッコ内を埋めたり、シールを貼ったりして完成できるようにする
- ・マスを大きくしたり、ひらがなで書いて良いことにする
- ・書くことを重視せず、見たり聞いたりして学習するようにする

#### \* 視覚的に読みやすく工夫する(10)

- ・板書は文字の大きさや色を使って見やすくする
- ・カードをつかったり、プリントにルビやイラストを多く使って、分かりやすくする
- ・プリントを見るだけで学習の流れが分かるようにする

#### \* スモールステップで取り組む学習設定(11)

- ・定着している漢字を使って読むことを継続して行う
- ・本人ができそうと思う内容をスモールステップで取り組む

#### \* 読みやすい字が書けるようにする(5)

- ・マス目に大きく分かりやすく書くように伝える
- ・毛筆や硬筆で大きく丁寧に書く

#### \* 漢字や文字への興味関心を高める(4)

- ・漢字の成り立ち、辞書をひいて意味を知ることから興味関心を高める

定期期  
(14)

#### \* 意欲的に学習できるようにする(5)

- ・学習成果が自分で分かるに準備し、自分で考えて問題を解いていく
- ・意欲的に漢字テストの宿題を行う

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C5. 記憶力 (13)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・忘れると自分を責めたり、興奮したりする
- ・忘れるに対する不安から焦燥感が強くなる
- ・学習したことを見直すとすぐに忘れてしまう

受容期  
(2)

#### \* 心の安定を図る(2)

- ・心の安定につながる楽しい体験を行う
- ・忘れて不安になりそうな時は、教員がメモしておく

試行期  
(7)

#### \* 忘れない方法で取り組む(5)

- ・忘れないためにメモを取り、机に貼る
- ・必要な内容はノートに書き、見返すようにする

#### \* 与える情報を減らす(2)

- ・伝える言葉の量や学習の量を減らす
- ・作業の手順を単純に示して、貼っておく

定期期  
(4)

#### \* 自分から取り組めるようにする(2)

- ・学習課題や手順などは、必要な時に自分で取り出して見るようとする

#### \* 将来に向けて取り組む(2)

- ・メモを取るスキルが退院後も必要となることを確認して取り組む

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C6. 注意・集中 (25)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・イライラして座っていられず、教室から走って出て行ってしまう
- ・授業に集中することができず、関係のない話を始める

受容期  
(9)

#### \* 刺激を減らす(3)

- ・教室のドアは閉め、黒板周辺は特に配慮して、掲示物も必要最小限にして刺激を減らす

#### \* 不適切な行動への対応(2)

- ・教室から飛び出した時は、その場で振り返り、なぜ危ないか確認する

試行期  
(10)

#### \* 無理なく好きな活動ができるようにする(4)

- ・興味のある学習内容を2~3つ用意する
- ・雑談等、やりたいことを行い、休憩時間を設ける

#### \* 見通しをもたせる(4)

- ・この時間で学習する内容やプリントを事前に示すなど、視覚的に見通しを持てるようにする

#### \* 興味がもてるように工夫する(4)

- ・生徒が楽しめる内容に活動を工夫する
- ・状態により、話を増やしたり、書く時間を増やすたりする

定期期  
(6)

#### \* 活動を短時間にする(2)

- ・課題を短時間で区切り、集中できる短い時間で学習する

#### \* 自分から取り組めるようにする(2)

- ・活動以外のことにつこだわっている時は、自分から活動にもどれようになる

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C7. 学習への意識 (39)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・教科学習全般に拒否的な態度で、苦手な教科は参加できずに逃げ出す
- ・学習に集中できず、取り組めない
- ・新しい活動には挑戦しようしない

受容期  
(12)

#### \* 無理なく好きな活動ができるようにする(7)

- ・無理せず、絵本を読んだり、好きな話題を話したり、ゲーム等をしたりする
- ・読み書き等の学習はしない
- ・会話をしやすい環境をつくり教員と話をする

#### \* 個別に取り組めるようにする(5)

- ・別室を用意する
- ・個別に支援する教員がついて取り組む

試行期  
(13)

#### \* できる内容を学習する(9)

- ・苦手な教科は無理をさせず、やれそうだと思える内容を用意する
- ・下学年の内容を学習する等、本人に適した課題を行い抵抗感を少なくする

#### \* 興味が持てるように授業を工夫する(4)

- ・親しみのもてる言葉、イラスト、キャラクター等を使って興味がもてるようにする
- ・ゲーム方式やパソコンを使い取り組みやすくする

定期期  
(14)

#### \* 自分から取り組めるようにする(4)

- ・本人が前向きに取り組める内容を学習し、自ら学ぼうとする意欲を育む

#### \* 苦手なことに取り組めるようにする(4)

- ・苦手意識の強い内容もやればできるという喜びを味わえるようにする

#### \* 将来に向けての活動設定(6)

- ・企業での就労体験から、将来への見通しをもたせる
- ・入試問題を使って、高校進学への意識を高める

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## C8. 経験 (27)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・自信がないことをせず、一つ一つに時間がかかる
- ・友達と一緒にに行ったり、様々な活動を行ったりすることが苦手
- ・将来に向けた新しい体験をしない

受容期  
(3)

#### \* 無理なく活動できるようにする(3)

- ・出来る範囲で焦らずじっくり取り組み、達成感を得る
- ・個別指導する

試行期  
(5)

#### \* スモールステップで取り組む学習設定(3)

- ・活動中や活動後に称賛し、自信や達成感を持たせる
- ・一人で行う前に少しずつ担任と一緒に行うようにしていく

定期期  
(19)

#### \* 集団や友達と取り組む設定(7)

- ・コミュニケーションできるゲームを通して友人とのかかわり方を身に付ける
- ・行事で学級での役割を担い、みんなで行えるようにする
- ・総合的な学習の時間での調べ学習の発表を設定する

#### \* 将来に向けての活動設定(9)

- ・段階を踏んで、教員と公共交通機関の利用を練習する
- ・職場体験を行い、進路を意識させる

#### \* 不適切な行動の対処を考えられるようになる(2)

- ・不適切な行動は、何がいけなかったかを確認し、相手の気持ちを聞く

#### \* 様々な活動を実施する(3)

- ・多くの活動を設定し、経験したことのないことを行うことで、好きなことを増やす

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## D1. 身体症状・体調 (28)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・不安や苦手なことがあると、頭痛や腹痛を訴えて早退する
- ・自分の体調が分からず
- ・気持ちを言葉して周囲に相談できない

受容期  
(13)

#### \* 気持ちを聞く(5)

- ・不安なことは何かじっくりと聞く
- ・担任が気軽に話せる居場所となる
- ・会話から気持ちの共有を図る

#### \* 不安を感じないようにする(3)

- ・痛みへの焦りや罪悪感を感じないようにする
- ・不安になる要因を取り除く

#### \* 体調を整える(2)

- ・水分をとって、休みながら行う
- ・ストレッチなどの軽い運動を一緒に行う

#### \* 気持ちをそらす活動をする(3)

- ・本人の好きなことを楽しんで行い、痛みが出てないようにする
- ・運動を行い頭痛や腹痛から思考をそらす

試行期  
(8)

#### \* 気持ちや身体の状態を表現する(4)

- ・気持ちをノートに書き出す
- ・不安なことを言語化できるようにする

#### \* 身体の状態を知る(2)

- ・血圧等を計ったり、身だしなみチェックシートでチェックしたりする

#### \* 見通しをもたせる(2)

- ・不安が大きい初めてのことは、見通しがもてるように提示する
- ・事前に対策や対応を教える

定期期  
(7)

#### \* 身体の変化への対策を考える(5)

- ・かゆみが出た時の対策を自分でまとめて活用できるようにする
- ・自分でチェックして何ができる、何ができるないかを考える

#### \* 自分の気持ちに気付けるようにする(2)

- ・辛くなりやすい状況を客観的に考え、気付けるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## D2. 巧緻性 (18)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- 道具の操作が苦手で創作活動をやろうとしない
- 不器用で細かい作業が苦手

受容期  
(3)

#### \* 失敗しない簡単なものを行う(3)

- 失敗したと感じやすいので、失敗しないように得意な活動を行っていく

試行期  
(12)

#### \* 活動の手順を分かりやすくする(4)

- 図や写真を使って活動内容を分かりやすく示し、スムーズに進めるようとする
- 活動と休憩をはっきりと分けて見通しをもたせる

#### \* 身体を動かしながら取り組む(3)

- 掃除道具や雑巾を使って清掃活動をする
- 調理道具を使ってお菓子などを作る

#### \* 興味や自信がもてるが持てる学習設定(5)

- 活動しやすい道具や材料を使って達成感をもたせる
- 興味のある得意な活動を行い自信を持たせる

定期期  
(3)

#### \* 作品の評価が得られる設定(3)

- 作った手芸品を売るか活動を行う
- 他者から評価を得られるようなテーマを設定する

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## D3. 動作・体力 (42)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- 不登校が長いため、生活に必要な体力がない
- 体力がなく、動きがぎこちなく、運動に苦手意識がある
- 自分の体力やボディイメージが把握できていない

受容期  
(9)

#### \* 無理なく活動できるようにする(6)

- 失敗しても気にせず、できていることをほめながら行う
- 疲れたら休みながら、教員も一緒に行う

#### \* 好きな活動を行えるようにする(3)

- 音楽を流しながら、ゲームや遊び等の好きな活動を行う

#### \* 動作を分かりやすく示す(6)

- 動作を写真や絵で視覚的に示す
- 行う前に動作のポイントを明確に伝える

#### \* ほめて自信をつけさせる(5)

- 成功した時に言葉やシールで分かりやすくほめて、もっとやりたいと思わせる

#### \* 分かりやすい活動を設定(5)

- 動きが複雑でなく、ルールの分かりやすい活動を行う
- 体育の授業の流れを同じにして行う

#### \* 楽しんで身体を動かせるようにする(4)

- 遊びを通して体力や感覚を育てるようにする

#### \* 身体のバランスを育てる活動設定(6)

- ストレッチやダンスなどの軽い運動を毎時間行う
- ブランコやトンネルくぐり、平均台等、平衡感覚を育てる教材を使う

#### \* 日常的に自分から行えるようになる(4)

- 自分自身が取り組みやすい活動を考えて行えるようになる
- 休み時間や放課後などに日常的に行い、上達できるようにする

定期期  
(7)

#### \* 様々な活動に取り組む(3)

- スキーや水泳、球技等、様々な競技を行う
- 流行しているダンスを取り入れる

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## D4. 多動性 (65)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・イライラしやすく、思い通りにならないと寝転んだり、教室を飛び出したりする
- ・じっと座っていることができず、すぐに気が散って、衝動的に動いてしまう
- ・他の生徒と同じペースで活動できず、指示を聞かずに自分のペースで行動してしまう。

受容期  
(13)

#### \* 無理せず気持ちを受け止める(6)

- ・大声で叱ったりせずに本人の話を聞く
- ・じつとしていられなくも無理強いせず、気持ちを受け止める

#### \* クールダウン・休憩ができるようにする(3)

- ・気持ちが落ち着かずには暴言等があった時は、集団から離してクールダウンする

#### \* 好きな活動ができるようにする(4)

- ・落ち着いて取り組める好きな活動をしたり、おしゃべりをしたりする

#### \* 見通しを持たせる(9)

- ・スケジュールや活動内容を提示したり、タイマーを使用したりする等、視覚的に分かりやすく示す
- ・授業のパターンを一定にし、活動の順序を細かく伝える

#### \* 身体を動かしながら学習する設定(9)

- ・身体を動かす、作業や体験学習を取り入れる
- ・黒板に書きながら一緒に立ち、話しながら学習する

#### \* 適切な行動を分かりやすく伝える(11)

- ・不適切な行動や話を聞けない時はカード等で視覚的に伝える
- ・学習に集中する時、話をして良い時を具体的に説明する

#### \* 振り返りをする(3)

- ・感情が抑えられなかつた時や着席して学習できた時には改善点等を丁寧に振り返る

#### \* 無理なく活動できるようにする(6)

- ・楽にできる活動を行い、少しづつ着席している時間を増やす
- ・飽きないように多様な課題を沢山準備する

#### \* ほめる機会を増やす(6)

- ・待てた時や穏やかに過ごせた時は大いにほめる
- ・成功した時は細かく丁寧にほめ、自信をもって取り組めるようにする

#### \* 集団活動から学べるようにする(5)

- ・友だちに教える役割や準備・片づけをする役割を与える
- ・友だちの気持ちを話し、相手の立場になって考える

#### \* 自分から取り組めるようにする(3)

- ・与えられた課題が終わった時は、自分から伝えて次の行動ができるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## D5. 感覚過敏 (38)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・大きな音や騒がしい音、視線が怖いため教室に入れない
- ・暑さや明るさ、衣服がする感覚が我慢できず、イライラする

受容期  
(20)

#### \* 気持ちを聞く、受け止める(2)

- ・不安な気持ちを十分に聞き、不快感に対する恐怖心を受け止める

#### \* 活動する空間や時間を探る(9)

- ・それぞれの不快感に対応して、教室の音やにおい、明るさを調整する
- ・不快を感じないように場所や時間を配慮する

#### \* 道具を工夫して不快感を減らす(9)

- ・ヘッドフォンをして大きな音や不快な音に対応する
- ・保冷剤等での暑さ対策をしたり、衣服を工夫して皮膚への刺激を減らしたりする

#### \* 見通しをもたせる(3)\*

- ・活動の時間や内容、周りの反応を事前に知らせて見通しをもたせて行動させる

試行期  
(14)

#### \* 集団の参加方法を工夫する(8)

- ・行事は場所や時間を工夫して参加しやすくする
- ・集団での活動は、気持ちを切り替えやすいものを設定し、作業を手伝うことで負担を減らす

定期期  
(4)

#### \* 自分で考えて行えるようにする(4)

- ・自分で集団活動の参加方法を考えたり、伝えたりできるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## E1. 見通し (36)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・予定が自分の思い通りにいかないと、暴力・暴言が出る
- ・はじめてのことや見通しのもちにくい活動に参加できない、不安定になる
- ・急な変更があると、受け入れられずに落ち着きがなくなってしまう

受容期  
(5)

#### \* 気持ちを聞く(2)

- ・分からぬことや不安なことを  
安心できる人に話せるようにする

#### \* クールダウンさせる(1)

- ・気持ちが落ち着くまで時間をとる

#### \* 活動の様子を見せる(2)

- ・不安がある時は、はじめは見学して様子を知る

#### \* 予定や持ち物を確認させる(9)

- ・朝や帰りに一日の時間割、活動内容、  
予定変更、持ち物を確認する

#### \* 行う活動内容を説明する(2)

- ・どんなことも事前に内容、終了時間  
等を十分に説明する

試行期  
(23)

#### \* 分かりやすく視覚的に提示する(9)

- ・メモ帳やホワイトボード等に記入して、視覚的  
に確認できるようにする
- ・タイマー等を活用して時間を分かりやすく示す

#### \* 気持ちや体調から無理せずに行動設定(3)

- ・努力や疲労の程度について、振り返りながら活動を  
設定していく

定期期  
(8)

#### \* 長期的な予定が分かるようにする(6)

- ・一週間や一ヶ月ごとの予定表を配布して記入  
させ、長期的な見通しをもたせる

#### \* 将来に向けて取り組む(2)

- ・退院や卒業、入試に向けて取り組む

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## E2. 物の管理(42)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・物が見つからないため不安になって学校にいけない
- ・忘れ物が多く、プリントや学習道具をすぐになくなってしまう
- ・整理整頓ができず、必要なものが出てこない

受容期  
(2)

#### \* 個別に気持ちを聞いて受けとめる(2)

- ・個別に話を聞き、物をなくしてしまう不安を受  
けとめる

#### \* 視覚的に分かりやすくする(7)

- ・整理された状態を写真に撮り、分かりやすくする
- ・持ってくる物が書かれた一覧表でチェックしながら  
準備をする

#### \* 整理する時間の設定する(2)

- ・プリント等、机上の物を整理してしまう時間を保障する
- ・朝、昼、帰る前等、時間を決めて整理を行う

試行期  
(33)

#### \* 予定を確認しながら取り組ませる(4)

- ・連絡帳に明日の持ち物や時間割を記入し、朝、  
再度、確認する

#### \* ほめて達成感をもたせる(3)

- ・忘れ物をしなかった時はシール等でほめる
- ・スマールステップで整理に取り組み、成功体  
験をもたせる

#### \* 整理方法に取り組ませる(10)

- ・物を置く場所を決め、教科別等でボッ  
クスに分けて収納する
- ・教科ごとにプリント用のファイルを作り、  
混ざらないようにして整理する

#### \* 教員と一緒に使う(7)

- ・個別に必要な物をどこにしまうか等、相談しながら一  
緒に整理する
- ・片付けや落とし物など、声かけしながら取り組ませる

定期期  
(7)

#### \* 自分でできるようにする(5)

- ・自分で持ち物を準備したり、決まった場  
所に片づけたりする習慣を身につける
- ・プリントは自分で判断して捨て、判断で  
きない物は尋ねることができるようになる

#### \* 定期的に振り返りする(2)

- ・定期的に振り返りをして、整理出  
來ていることを確認させる

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

### E3. 登校・入室への抵抗感(33)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

#### 課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一対一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期  
(16)

- \* 学習場所を柔軟に変更する(9)  
・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する  
・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

- \* 共感、理解する(2)  
・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

試行期  
(12)

- \* 相談しながら行えるようにする(5)  
・イライラした時の気持ちや学習内容、座席の位置等を相談していく

- \* 友達と関わるようにする(2)  
・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

定期  
(5)

- \* 自分から伝えられるようにする(1)  
・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

- \* 役割を持たせて活動する設定(1)  
・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

- \* 将来に向けて取り組む(3)  
・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

### F1. 睡眠・生活リズム(44)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

#### 課題

- ・昼夜が逆転しているため、家族の生活を圧迫し、登校時間を守れない
- ・学校で寝てしまったり、多くの活動が出来なかつたりする
- ・自分のやることを順序よくこなせず、やるべきことを後回にしたり、時間を守れなかつたりする

受容期  
(14)

- \* 体調を把握する(4)  
・体調や睡眠時間、服薬等を記録して把握する

- \* 気持ちを聞く(4)  
・コミュニケーションや面談を多くして、不安等の気持ちを把握する

- \* 安心できる環境作り(3)\*  
・人間関係など、安心して過ごすための環境を整える

- \* 好きな活動を行うようにする(3)  
・興味のある活動を多くして心理的安定を図る

試行期  
(17)

- \* 時間や予定を意識させる(7)  
・予定や時間を伝えて見えるところに貼り、予定や時間を意識させる

- \* 体調に合わせた学習を設定する(4)  
・体調や体力に合った運動量や難易度の学習を設定する

- \* 少しづつ学習に参加できるように取り組む(6)  
・達成したら印をつける等、意欲を高めながら参加する時間を徐々に増やしていく  
・体調に合わせて学校に来られるようにしていく

定期  
(13)

- \* 様々な活動を実施する(4)  
・清掃活動、散歩、買い物、プール、スキー等様々な活動を行う

- \* 体調や生活のリズムの理解を深める(4)  
・就寝、体温等を自分で記録して体調を把握し、より良い生活のリズムを知る

- \* 将来に向けての活動設定(5)  
・就職後、生活リズムを整えることや時間を守ることの大切さを話しあう

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## F2. 食事(13)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・食事の前になるとイライラして集中できない
- ・一日中、ほとんど食事らしい食事をしていない
- ・昼食は決まってコンビニのおにぎりを食べ、バランスの良い食事ができていない

受容期  
(4)

#### \* 気持ちを聞いて受けとめる(2)

- ・食事の話題はできるだけせず、話題になった時には否定せずに受けとめる

#### \* 食べる場所を工夫する(2)

- ・みんなからは見えない個室などで食べる

試行期  
(5)

#### \* 無理なく取り組めるようにする(3)

- ・食事の機会を設け、少量でも食べることを促す
- ・無理なく調理をする機会を設ける

#### \* 相談しながら行えるようにする(2)

- ・食べなければならない状況になった時にについて、方法を少しづつ提案して相談しておく

定期期  
(4)

#### \* 集団や友達と取り組む設定(2)

- ・行事や集団での食事をしたり、学習班で調理をしたりする

#### \* 自分で食事が作れるようになる(2)

- ・昼食を作るよう促し、作った日はスタンプを押す

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## F3. 服薬(8)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・薬を勝手に止めてしまったり、飲まなかつたりする
- ・毎日、同じ時間に薬を飲むことができない

受容期  
(2)

#### \* 気持ちを聞く(2)

- ・飲まない理由等を聞く
- ・不信感などを表出させる

試行期  
(4)

#### \* 薬を飲んだか確認する(4)

- ・朝や昼食後、チェックシートを使用して確認し、時間や容量を守って飲めるようにする

定期期  
(2)

#### \* 薬を飲む理由を理解させる(2)

- ・なぜ飲まなければならないかを理解できるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## F4. 病気の理解(37)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・衝動に任せて行動し、暴力をふるったり、治療や登校を拒否したりする
- ・自分が病気であると思っておらずに無理をして、倒れたり、失敗したりを繰り返す
- ・病気のために自己肯定感が低くなり、他人と比べて落ち込む

**受容期**  
(8)

- \* 気持ちを聞く(4)**
- ・無理のない話からはじめて、本人が気持ちを話すまでじっくり待つ

- \* 安心できる環境作り(4)**
- ・状況を十分に把握し、時間をかけて信頼関係を作る

**試行期**  
(16)

- \* 体調を確認する設定(3)**
- ・朝の会で唇の色など、具体的な状態をチェックする健康観察の時間を設ける

- \* 相談しながら行えるようにする(3)**
- ・面談を行い、行動面や本人の良いところ等と一緒に考えていく

**定期期**  
(13)

- \* スモールステップで取り組ませる(6)**
- ・学習面や行動面について細かく段階を取り組めるように提示する
  - ・何が課題が考えて取り組み、振り返りと評価を積み重ねる

- \* 無理なく取り組む活動設定(4)**
- ・具体的な内容や休み時間を提示し、声かけを丁寧にしながら取り組む

- \* 目標を設定して取り組ませる(4)**
- ・週ごとに目標を相談しながらつくり、達成できた時にほめる
  - ・目指したい将来の姿について考える時間を設ける

- \* ミュニケーションを促す活動設定(4)**
- ・友達とゲームなどをしたり、顔色などの体調を確認し合う活動を行う

- \* 長期的な見通しをもてるようにする(5)**
- ・気持ちや体調のグラフから客観的に振り返り、今後の変化について予想する

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す

## F5. ストレスへの対処(67)

Co-MaMeによる  
【支援・配慮のイメージ図】

### 課題

- ・ストレスがたまり、学习に集中できず、泣いたり、騒いだりして登校できなくなる
- ・怒られることや勉強等の期待からイライラして不安定になる
- ・不満がたまり切り替えられず、苦手なことから逃げる

**受容期**  
(18)

- \* 気持ちを聞く(7)**
- ・いつでも不安等を話せる環境をつくる
  - ・表情の変化から気持ちを聞いて受け止める

- \* クールダウン、休憩できるようにする(5)**
- ・適宜、休憩をとり、パニックになりそうな時は、その場から離れてクールダウンさせる

- \* 授業の参加方法を柔軟に変更する(3)**
- ・体調を見ながら、決まった時間や場所だけ参加するなど、土台を作っていく

- \* 無理なく好きな活動ができるようにする(3)**
- ・興味の持てることや、楽しくできることを繰り返し行う

- \* 相談しながら行えるようにする(4)**
- ・ストレスや不安、相手へ伝えたいことを相談しながら整理する

- \* 解消する方法を伝える(4)**
- ・ストレスを解消する良い掲示する

- \* 見通しをもたせる(3)**
- ・見本を見せたり、活動の流れを掲示したりして見通しが持てるように視覚的に工夫する

- \* 取り組む姿勢もほめる(3)**
- ・姿勢もほめて、自信につながるようにする

### \* スモールステップで行う学習設定(7)

- ・ハードルの低いことから取り組み自信をつけていく
- ・個別に行ったり、小集団で教員も一緒に行ったりする

**試行期**  
(21)

- \* 対処方法を考え取り組めるようにする(13)**
- ・ストレスがたまる理由や状態を考えて、どのようにすれば対処できるか考えて取り組む
  - ・ストレスの発散方法や折り合いをつける方法をSSTや普段の生活から学ぶ

- \* 苦手なことに取り組む(7)**
- ・苦手になった理由を整理してどのようにすれば出来るようになるか考えて行っていく

**定期期**  
(28)

- \* 自分の特徴や状況を理解する(6)**
- ・どのような時にイライラするか、理由や気持ちから自己理解を深め、周りの状況ややるべき内容を考えて整理する

- \* ストレスを自分から伝えられるようにする(2)**
- ・ストレスを感じたら、自分から伝えられるようにする

National Institute of Special Needs Education

( )内は件数を示し、課題及び支援の具体例は代表的なもののみ示す